

WATCH BOOT  
nino  
RPC-M2CS

詳細版

■ 取扱説明書 ■

明京電機株式会社

## ご購入ありがとうございます

弊社リブーター WATCH BOOT nino RPC-M2CSをご購入いただきありがとうございます。

WATCH BOOT nino RPC-M2CSはネットワーク経由でシステム機器の制御／管理をする遠隔自動電源制御装置です。2個の100V AC電源を個別に遠隔制御／管理できます。接続する機器に関しては「安全上のご注意」をご確認ください。

また、NTPサーバーに接続することにより、週間スケジューラーとしてもご利用になれます。

WATCH BOOT nino RPC-M2CSが皆様の所有されるネットワークシステムにおいて有効かつ有用なツールとして機能することを願っております。

この取扱説明書を必ずお読みください。

本書はセットアップ手順と、操作、設置、安全の確保などのための手順が記載されています。

ご使用前に、必ず本書をお読みください。

### 付属品一覧

本製品には次の付属品が同梱されています。必ずご確認ください。

1. セットアップガイド 兼 保証書
2. アース線

当社ホームページ(<https://www.meikyo.co.jp/download/>)に、運用に便利なソフト等がありますのでダウンロードしてご利用ください。

1. 取扱説明書(詳細版) PDFファイル(本書)
2. RPCサーチソフト
3. ネットワーク稼動監視ソフト
4. プライベートMIBファイル

## 安全上のご注意

この取扱説明書での表示では、本装置を安全に正しくお使いいただくために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は以下のようになっています。本文をよくお読みいただき、内容をよくご理解の上、正しくご使用ください。

### 注意喚起シンボルとシグナル表示の例

|   |   |
|---|---|
|  <b>警告</b> | 誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。               |
|  <b>注意</b> | 誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容、及び物的損害*の発生が想定される内容を示しています。 |

\*物的損害とは家屋家財および家畜ペットにかかわる拡大損害を示します。

### 図記号の例

|   |   |
|---|---|
| <br>分解・改造禁止  | ⊘は、禁止(してはいけないこと)を示します。具体的な禁止内容は ⊘の中や近くに絵や文章で示します。左図の場合は「分解・改造の禁止」を示します。         |
| <br>電源プラグを抜く | ●は、強制(必ずすること)を示します。具体的な強制内容は、●の中や近くに絵や文章で示します。左図の場合は「差し込みプラグをコンセントから抜くこと」を示します。 |

# 警告

● 万一異常が発生したら、電源プラグをすぐに抜く！

煙、変な音、においがするなど、異常状態のまま使用しないでください。火災や感電の原因となります。このようなときは、すぐに電源プラグを抜いてお買い上げの販売店や弊社にお問い合わせください。



電源プラグを抜く

● AC100V(50または60Hz)以外の電源電圧では使用しない

表示された電源電圧(交流100V)以外の電圧で使用しないでください。特に110Vを越える電圧では製品を破壊するおそれがあり、火災の原因となりますので、絶対に接続しないでください。



交流100V

● 本装置の電源アースあるいはFG端子を接地する

本装置の電源プラグのアースあるいはFG端子を接地してください。感電や故障の原因となります。



アース接地

● 本装置後面のACコンセントは10Aまで

本装置後面のACコンセントは、供給できる容量の合計は最大で10Aです。合計10Aを越えて使用しないでください。火災や故障の原因となります。



最大容量10Aまで

● たこ足配線をしない

本装置の電源は、家庭用電源コンセントから直接取ってください。本装置のACコンセントに、電源用テーブルタップなどを接続して使用しないでください。火災や故障の原因となります。



たこ足配線禁止

● 電源コードを大切に

コードに重いものを載せたり、熱器具に近づけたりしないでください。コードが損傷し火災や感電、故障の原因となります。また、コードを加工したり無理に曲げたり引っ張ったりすることも、火災や感電の原因となるのでおやめください。コードが傷んだ場合はお買い上げの販売店、または弊社までご相談ください。



コードを乱暴に扱わない

● 極めて高い信頼性や安全性が必要とされる機器に接続しない

本装置はパソコン及びパソコン周辺機器と接続する用途に設計されています。人命に直接関わる医療機器などの極めて高い信頼性または安全性が必要とされる機器には接続しないでください。



パソコン機器専用

●ぬれた手で本装置や電源プラグにさわらない

ぬれた手で本装置の操作を行なわないでください。ぬれた手で電源プラグを抜いたり、差し込んだりしないでください。感電の原因となることがあります



ぬれた手でさわらない

●本装置の上や近くに水などの液体を置かない

本装置に水などの液体が入った場合、火災、感電、故障などの原因になります。



液体を近くに置かない

●異物を入れない

製品に、金属類や燃えやすいものが入ると、火災や感電の原因となります。

万一異物が入った場合はすぐに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げの販売店、または弊社までご相談ください。



内部に異物を入れない

●ヘアースプレーなどの可燃物を本装置の上や近くに置いたり、使用したりしない

スイッチの火花などで引火して火災の原因になることがあります。



可燃物禁止

●雷が鳴り出したら製品や電源プラグに触れない

感電の原因となります。本装置には、落雷用保護回路がありますが、FG端子を接地して、アースされた状態でないと十分な効果を発揮しませんのでご注意ください。



雷のときは、触れない

●分解したり改造したりしない

内部には電圧の高い部分がありますので、カバーをはずして内部の部品に触ったり、製品を改造したりしないでください。火災や感電、故障の原因となります。



分解・改造禁止

●製品を落したりして破損した場合は

そのまま使用すると火災や感電、故障の原因となります。電源プラグをコンセントから抜き、前面のコネクタをすべて抜いて、お買い上げの販売店、または弊社までお問い合わせください。



電源プラグを抜く

●火災・感電・事故・傷害の発生する危険がある機器は、遠隔制御機能を利用しない

遠隔制御機能を利用する場合は、遠隔操作により火災・感電・事故・傷害の発生する危険がある機器は接続しないでください。特に、電気ストーブや電熱器など熱を発生するものは、火災の原因となりますので絶対に接続しないでください。接続機器が突然動作した時に接続された機器の近傍にいる人が危険になるような機器を接続しないでください。また、通信回線の故障などにより遠隔制御が行えなくなった場合でも、安全状態が維持されるように、連続運転可能な機器のみ接続してください。接続される機器の安全性に関しては、接続される機器のUSB等のアウトレットにも遠隔操作によって危険がないことを確認して下さい。本機に接続される機器は、必ず、本機の近傍にあり、本機の近傍にいる人が危険を感じた場合、機器の電源プラグを容易に外せるようにしてください。



遠隔制御禁止

# 注意

- 電源プラグを抜くときは電源コードを引っ張らない  
電源プラグを抜くときは必ずプラグを持って抜いてください。  
コードを引っ張って抜くと傷がつき、火災や感電の原因となることがあります。  
  
コードを引っ張らない
- 風通しの悪いところに置かない  
製品を密閉された場所に置かないでください。熱がこもり、やけどや火災、故障の原因となることがあります。  
  
風通しの悪い場所禁止
- 温度が高くなるところに置かない  
直射日光の当たるところや熱器具の近くなど、高温になるところに置かないでください。やけどや火災、故障の原因となることがあります。  
  
温度が高い場所禁止
- お手入れのときは  
本装置の本体が汚れた場合は、柔らかい布に水または中性洗剤を含ませ、よく絞ってから軽く拭いてください(絶対に、電源プラグやコネクタなどの接続部をこの方法で拭かないでください)。薬品類(ベンジン・シンナーなど)は使わないでください。変質・変色する場合があります。本体に接続されている電源プラグやコネクタなどの接続部のお手入れは、電源プラグやコネクタを抜いて、機器を傷つけないよう軽く乾拭きしてください。いずれの場合も、必ず本装置の電源プラグをコンセントから抜き、本装置に接続されている電源プラグやコネクタ類も全て抜いてから行なってください。感電や故障の原因となることがあります。  
  
電源プラグを抜く
- 湿気やほこりの多いところに置かない  
湿気やほこりの多い場所や調理台、加湿器の近くなど、油煙や湯気があたるような場所に置かないでください。火災や感電の原因となることがあります。  
  
湿気・ほこり禁止
- 逆さまに設置しない  
本装置を逆さまに設置しないでください。また、布等でのくんだ状態での使用もおやめください。特に、ビニールやゴム製品が接触している状態での使用はおやめください。火災や故障の原因となることがあります。  
  
逆さま禁止
- 電源プラグとコンセントの定期点検を  
電源プラグとコンセントは長時間つないだまましていると、ほこりやちりがたまり、そのままの状態で使用を続けると、火災や感電の原因となることがあります。  
定期的な清掃をし、接触不良などを点検してください。  
  
定期点検

●接続できるものについて

本装置はパソコンや周辺機器、通信機器などの接続を主として設計されており、他の負荷機器に関しては、遠隔操作に伴う危険源がない又はリスク低減策を講じることに  
より遠隔操作に伴う危険源がない負荷機器に限定されています。



接続する負荷機器

●DIPスイッチの操作に金属製のもの、鋭利なものを使用しない

DIPスイッチのレバーを操作する時には、先端が丸みのある柔らかい木製のものを使用してください。硬い金属製のもの、鋭利なものを使用すると、レバーを破損してしま  
ったり、接点部の接触に支障をきたしてしまったりする恐れがあります。



DIPスイッチ操作

●本装置は日本国内のみで使用

国外での使用は、電源電圧などの問題により、本装置が故障することがあります。



国内のみ使用

●不安定な場所やお子様の手が届く所には置かない

ぐらついた台や本装置より面積が小さいものの上や傾いた所、また衝撃や振動の加  
わる所など、不安定な場所やお子様の手が届く所に置かないでください。落ちたり倒  
れたりしてけがや故障の原因となります。



不安定な場所禁止

●ラジオやテレビなどのすぐ近くに置かない

ラジオやテレビなどのすぐ近くに置きますと受信障害を与えることがあります。



ラジオ、テレビの近く禁止

●データの保存について

データの通信を行なう際には、あらかじめデータのバックアップを取るなどの処置を  
行なってください。回線や本装置の障害によりデータを消失するおそれがあります。



バックアップ

●花びんやコップ、植木鉢、小さな金属物などを本装置の上に置かない

内部に水や異物が入ると、火災や感電の原因となります。万一、水などが内部に  
入ったときは、すぐに電源プラグをコンセントから抜いてください。



上にものを置かない

●踏み台にしない

本装置の上に乗らないでください。  
倒れたりしてけがや故障の原因となることがあります。



踏み台禁止

## 目次

|                             |    |
|-----------------------------|----|
| 安全上のご注意.....                | 3  |
| 目次.....                     | 8  |
| 第1章 はじめに.....               | 10 |
| 1. 機能概要.....                | 11 |
| 2. 各部の名称と機能.....            | 12 |
| 3. DIPスイッチの設定.....          | 13 |
| 4. LED表示について.....           | 14 |
| 第2章 設置・取付.....              | 15 |
| 1. 設置・取付.....               | 16 |
| 2. ラックへの取付.....             | 16 |
| 3. 固定方法.....                | 16 |
| 第3章 初期設定.....               | 17 |
| 1. 初期設定.....                | 18 |
| [1] 使用条件の確認と同意.....         | 18 |
| 2. 初期化の方法.....              | 21 |
| 3. 一斉電源制御受付.....            | 22 |
| [1] 受付状態設定方法.....           | 22 |
| [2] 受付状態解除方法.....           | 23 |
| 第4章 WEBブラウザでの設定, 制御.....    | 24 |
| 1. ログイン.....                | 25 |
| [1] IPアドレスを固定にして利用する場合..... | 25 |
| [2] RPCサーチソフトを利用する場合.....   | 27 |
| 2. 設定項目.....                | 28 |
| [0] 入力可能な半角文字について.....      | 28 |
| [1] 基本設定.....               | 29 |
| [2] 通信設定.....               | 42 |
| [3] 監視設定.....               | 51 |
| [4] スケジュール設定.....           | 61 |
| [5] システム情報.....             | 63 |
| [6] PING送信.....             | 66 |
| [7] 簡易説明.....               | 67 |
| 3. 状態表示項目.....              | 68 |
| [1] 簡易情報表示.....             | 68 |
| [2] 監視状態表示.....             | 69 |
| [3] イベントログ表示.....           | 71 |
| 4. 電源制御.....                | 72 |
| [1] 電源制御.....               | 72 |
| [2] 仮想アウトレット制御.....         | 73 |
| [3] 一斉電源制御.....             | 74 |
| 5. CPUリセット.....             | 75 |
| 第5章 その他の設定.....             | 76 |
| 1. TELNETによる設定.....         | 77 |
| [1] TELNETコマンドによる設定.....    | 78 |

|                         |     |
|-------------------------|-----|
| 第6章 その他の制御 .....        | 79  |
| 1. TELNET接続による制御 .....  | 80  |
| [1] TELNET接続による制御 ..... | 80  |
| 2. メールからの制御 .....       | 82  |
| 3. WEBコマンドからの制御 .....   | 83  |
| 第7章 ログ機能 .....          | 84  |
| 1. ログ機能の設定・表示 .....     | 85  |
| [1] ログ制御変数のビット構成 .....  | 85  |
| [2] ログ表示コマンド .....      | 86  |
| [3] ログの表示形式 .....       | 86  |
| [4] 記録ログ一覧表 .....       | 87  |
| 第8章 SNMPについて .....      | 89  |
| 1. SNMPについて .....       | 90  |
| 2. 機器設定 .....           | 90  |
| 3. MIBについて .....        | 92  |
| 第9章 ネットワーク稼働監視 .....    | 93  |
| 1. 機器設定 .....           | 94  |
| 2. RPC EYEの利用 .....     | 95  |
| 第10章 仕様一覧 .....         | 96  |
| ■変数一覧表 .....            | 97  |
| ■ログ一覧表 .....            | 103 |
| ■制御コマンド一覧表 .....        | 104 |
| ■仕様一覧表 .....            | 106 |

第1章  
はじめに

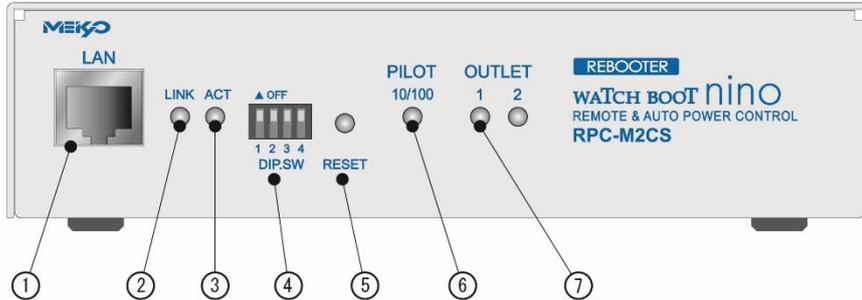
## 1. 機能概要

本装置には以下の機能があります。

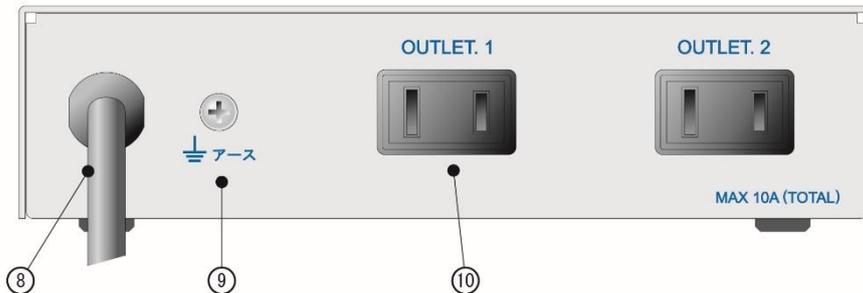
- 1) 2個の100V AC電源を個別に制御/管理
- 2) 通信による電源制御
  - ・WEBからの電源制御と設定
  - ・TELNETからの電源制御と設定
- 3) スケジュールによる制御
  - ・週間スケジュールによる電源制御
- 4) 監視機能
  - ・電源状態の監視
  - ・ICMPによる死活監視(PING監視)
  - ・ハートビートによる監視
- 5) 各デバイスへの遅延電源投入
  - ・本体電源投入時に、指定した順番、タイミングによる各デバイスの起動
- 6) メールによる制御や通知
- 7) センター通知機能
  - ・電源状態と死活監視状態をセンターへ通知
  - ・RPC EYE V4対応
- 8) SNMPエージェント機能
- 9) 通信による遠隔バージョンアップ
- 10) 通信中継機能(TELNET通信)
  - ・TELNETクライアントとして通信
- 11) マジックパケットによる起動

## 2. 各部の名称と機能

### フロントパネル



### リヤパネル



|              |                         |
|--------------|-------------------------|
| ① LAN        | LANケーブル(8ピンRJ45)を接続します。 |
| ② LINK LED   | CPU状態を表示します。            |
| ③ ACT LED    | 通信状態を表示します。             |
| ④ DIPスイッチ    | 運用や初期化など各種モードの切替に使用します。 |
| ⑤ RESETスイッチ  | 出力電源へ影響を与えずにCPUを初期化します。 |
| ⑥ PILOT LED  | 本体に電源が投入されている場合に点灯します。  |
| ⑦ OUTLET LED | ACアウトレットの電源出力状態を表示します。  |
| ⑧ 電源コード      | 商用電源, UPSなどに接続します。      |
| ⑨ アース線       | アース線を接続します。             |
| ⑩ ACアウトレット   | デバイスの電源コードを接続します。       |

**注意** 故障や漏電の時の感電防止になりますので、アース線を取り付けることをお勧めします。

## 3. DIPスイッチの設定

DIPスイッチの機能(OFFは「上」、ONは「下」を意味します。)

| NO. | 状態  | モード            |
|-----|-----|----------------|
| 1   | OFF | 運転モード          |
|     | ON  | 初期化            |
| 2   | OFF | 運転モード          |
|     | ON  | 未使用            |
| 3   | OFF | 運転モード          |
|     | ON  | メンテナンスモード, 初期化 |
| 4   | OFF | OFFに固定         |
|     | ON  | 未使用            |

DIPスイッチの設定

|       |     | 1 | 2 | 3 | 4 |
|-------|-----|---|---|---|---|
| 通常運転時 | OFF | ■ | ■ | ■ | ■ |
|       | ON  |   |   |   |   |
| 初期設定時 | OFF | ■ | ■ |   | ■ |
|       | ON  |   |   | ■ |   |
| 初期化時  | OFF |   | ■ |   | ■ |
|       | ON  | ■ |   | ■ |   |

**注意**

DIPスイッチのレバーを操作する時には、金属製のものや鋭利なものを使用せず、先端が丸みを帯びている木製のものを使用してください。

DIPスイッチを操作するときは、本体のACアウトレットから全デバイスを取り外してください。

DIPスイッチ操作また設定終了後は、必ず、本体前面のRESETスイッチを押してください。誤動作する恐れがあります。

初期設定は、「第3章 初期設定」の「初期化の方法」を参照にして設定してください。

## 4. LED表示について

本体には3種類のLEDが装備されています。

### 1) LINK, ACT LED

CPUの通信状態を表示します。

| LED  | 用途    | 状態       | 表示               |
|------|-------|----------|------------------|
| LINK | CPU状態 | ケーブル抜け   | 0.25秒点灯, 0.25秒消灯 |
|      |       | LAN正常リンク | 1秒点灯, 1秒消灯       |
| ACT  | 通信状態  | パケット受信時  | 点灯               |
|      |       | パケット未受信時 | 消灯               |

### 2) PILOT(10/100) LED

本体に電源投入されている場合、オレンジが点灯します。

本体に電源投入され、100BASE-TXリンク時にはグリーンが点灯します。

全アウトレットの死活監視リポート回数の合計(初期値は12回)が設定値を越えたら赤が点灯します。

メール受信サーバーへのアクセスエラー時は、赤2秒点灯→0.25秒消灯→2秒点灯します。

### 3) OUTLET LED

① ACアウトレットの電源出力状態を表示します。

ON の場合 : 点灯

OFFの場合 : 消灯

② OFF遅延中, 1秒点滅

③ PING監視

1. [動作]が「リポート」または「ログのみ」の場合

(ア)監視異常中(出力ON)は、2秒点灯→0.25秒消灯→2秒点灯

(イ)監視スタート後、全てのPING監視対象から応答を確認するまでの間、1秒点灯→0.25秒消灯を繰り返す、その後点灯します。(出力はON)

2. [動作]が「ON」の場合

(ア)監視異常中(出力ON)は、2秒点灯→0.25秒消灯→2秒点灯

(イ)監視スタート後、全てのPING監視対象から応答を確認するまでの間、1秒消灯→0.25秒点灯を繰り返す、その後消灯します。(出力はOFF)

3. [動作]が「OFF」の場合

(ア)監視スタート後、全てのPING監視対象から応答を確認するまでの間、1秒点灯→0.25秒消灯を繰り返す、その後点灯します。(出力はON)

**PING監視の[動作]、「ON」「OFF」の設定はブラウザからは行えません。**

**変数[debOlWdogAction]を直接変更する必要があります。**

第2章  
設置・取付

## 1. 設置・取付

以下の手順で設置します。

- 1) 本体を設置場所に置きます。設置場所は、単相100VAC/10A以上のコンセントに直接差し込める場所で本体背面に電源プラグが差し込める位置であることを確認します。
- 2) 本体前面のLAN用コネクタにLANケーブルを接続します。
- 3) 本体の電源コードをコンセントに接続します。

**注意** 本装置を逆さまに設置しないでください。火災や故障の原因となることがあります。

## 2. ラックへの取付

以下の手順でラックに取り付けます。

- 1)ラック・キャビネットにプレートを取り付けます。  
プレートはラックサイズに合った一般市販品をご用意ください。
- 2)ラック・キャビネットに本装置を設置します。
- 3)本体前面LAN用コネクタにLANケーブルを接続します。
- 4)電源コードをコンセントに接続します。

## 3. 固定方法

本装置固定のため設置用の穴があります。

底面についている設置用の穴(4箇所)を利用して機器を固定します。  
取り付け用のねじは、M 3×8 L(MAX)をご利用ください。

**注意** 壁面に取り付ける場合は、オプションの取付金具ATT02が便利です。  
オプション:取付金具(ATT02)標準価格 3,000円(税抜)

## 第3章 初期設定

## 1. 初期設定

### [1] 使用条件の確認と同意

本製品の使用にあたっては、初めに使用条件に同意していただく必要があります。

外部のネットワークから接続するために固定のIPアドレスを設定します。

設定用PCと本装置とは、LAN用コネクタにLANケーブルで接続します。  
(PCと直接接続する場合は、クロスLANケーブルになります)

1) LANやVPN上に192.168.10.1および2のIPアドレスを持つホストがないことを確認します。

2) 設定用PCのIPアドレスとサブネットマスクを以下の通り設定します。

IPアドレス           :192.168.10.2  
サブネットマスク   :255.255.255.0

3) 本体前面のDIPスイッチ3をONにします。

(メンテナンスモードになり、IPアドレスが192.168.10.1となります。)

注意

メンテナンスモードの場合、LANの通信速度は10BASE-Tでつながる設定になっている必要があります。

4) 本体前面のRESETスイッチを押します。

5) 設定用PCのWebブラウザを起動します。

http://192.168.10.1を指定し、本装置にアクセスします。

注意

ブラウザはJavaScriptとフレームに対応している必要があります。  
推奨ブラウザは弊社HP「よくある質問」の「ブラウザにはどれを使用すればいいですか?」をご覧ください。

<https://www.meikyo.co.jp/faq/>

6) ブラウザ依存のポップアップ画面が表示されます。ユーザー名(デフォルト:admin)とパスワード(デフォルト:magic)を入力します。



- 7)「ご確認のお願い」の画面が表示されます。内容を確認の上、「上記の内容に同意します。」をチェックし「次へ」をクリックします。

**ご確認のお願い**

以下の文面をお読みになり、同意される場合のみ、遠隔制御機能を有効化できます。

**RPC-M2CS**

電気用品安全法により、遠隔操作に伴い感電・事故・傷害の発生する危険がある機器の遠隔操作は禁じられています。したがって、電気用品の中には、遠隔制御により感電、火災及び障害の生じる可能性があるものがありますので、そのような機器を、本装置のアウトレットに接続してはなりません。

特に、電気ストーブや電熱器など熱を発生するものは、火災の原因となりますので絶対に接続しないでください。

接続機器が突然動作した時に接続された機器の近傍にいる人が危険になるような機器を絶対に接続しないでください。

また、通信回線の故障などにより遠隔制御が行えなくなった場合でも、安全状態が維持されるように、連続運転可能な装置のみを接続してください。

**上記の内容に同意します。**

- 8) Management menu画面が表示されます。

**Management menu**

|              |  |
|--------------|--|
| モデル名         | RPC-M2CS   |
| バージョン        | 1.00A.170224   |
| MACアドレス      | 00:09:EE:02:04:F5  |
| IPアドレス       | 192.168.10.1   |
| サブネットマスク     | 255.255.255.0  |
| デフォルトゲートウェイ  |  |
| DNSサーバーアドレス  |  |
| DHCP機能       | <input type="radio"/> 有効 <input checked="" type="radio"/> 無効 |
| HTTP機能       | <input checked="" type="radio"/> 有効 <input type="radio"/> 無効 |
| HTTPポート      | 80   |
| TELNET機能     | <input type="radio"/> 有効 <input checked="" type="radio"/> 無効 |
| TELNETポート    | 23   |
| リンク速度とDuplex | 自動検知   |
| IPフィルター機能    | <input type="radio"/> 有効 <input checked="" type="radio"/> 無効 |

- 9) IPアドレス欄にご利用になるLANに適切なIPアドレスを入力します。  
運用時にIPアドレスを固定にして利用する場合、「DHCP機能」を無効にチェックしたままで、IPアドレス欄にご利用になるLANに適切なIPアドレスを入力します。  
DHCPを利用して動的にIPアドレスを割り当てる場合は、「DHCP機能」を有効にチェックして「適用」をクリックします。

- 10) 設定が終了したら「適用」をクリックします。

- 11)その他、「TELNET機能」など必要に応じて設定を行います。設定が終了しましたら、「適用」をクリックします。
- 12)本体前面のDIPスイッチ3をOFFにします。(運用モードにします。)
- 13)本体前面のRESETスイッチを押します。
- 14)Webブラウザを閉じます。
- 15)設定用PCのIPアドレスを元に戻します。

|   |
|---|
| <p>注意      設定後は、必ず「適用」をクリックし、「RESETスイッチ」を押してください。<br/>             「RESETスイッチ」を押さないと設定が反映されません。</p> |
|---|

## 2. 初期化の方法

本装置を初期化して出荷状態に戻します。

(まだ電源コードをコンセントに接続しないでください。)

- 1) 本体前面のDIPスイッチ1と3のみON(下)にします。
- 2) 電源コードをコンセントに接続し、電源を供給します。
- 3) 本体前面のLINK LEDが5秒間点灯します。  
点灯中に本体前面のRESETスイッチを1秒程度、押します。
- 4) 初期化が成功するとLINK LEDとACT LEDが点灯します。
- 5) RESETスイッチを押す前にLINK LEDが消灯してしまった場合は一旦電源コードを抜き電源を供給からやり直してください。
- 6) 初期化後は、DIPスイッチ3のみON(下)にし、再度電源を供給してからご使用ください。
- 7) 初期化後は再度、使用条件の確認と同意が必要になりますので、「第3章 初期設定」から実行してください。

|    |                      |
|----|----------------------|
| 注意 | 初期化中は本体の電源を切らないで下さい。 |
|----|----------------------|

## 3. 一斉電源制御受付

**一斉電源制御**とは、複数の本装置を最大8グループに分けて、各グループ単位で一斉制御コマンドを送り、電源を制御することが出来る機能です。ブロードキャストパケットを利用しています。

一斉電源制御コマンドを送る方法は、第4章4.[3]をご覧ください。

### [1] 受付状態設定方法

1) 本体起動後、本体前面のDIPスイッチ3のみON(下)にし、RESETボタンを押します。これで「メンテナンスモード」になります。「メンテナンスモード」はIPアドレスが192.168.10.1固定です。アクセスする機器のIPアドレスを192.168.10.2などに設定する必要があります。

2) メンテナンスモードの設定画面(Management Menu)の下部(赤の枠)で「子機グループ」「ホスト側MACアドレス」を設定します。

子機グループ: Disabled[デフォルト]  
Group1~8

ホスト側MACアドレス:  
一斉電源制御コマンドが送られてくる親機のMACアドレスを指定します。

3) 「適用」を押し、DIPスイッチをすべてOFF(上)にして、RESETボタンを押すと一斉電源制御受付状態になります。

| Management menu |  |
|-----------------|--|
| モデル名            | RPC-M2CS   |
| バージョン           | 1.00D.190820   |
| MACアドレス         | 00:09:EE:01:17:02  |
| IPアドレス          | 192.168.1.202  |
| サブネットマスク        | 255.255.255.0  |
| デフォルトゲートウェイ     | 192.168.1.1  |
| DNSサーバーアドレス     | 192.168.1.1  |
| DHCP機能          | <input type="radio"/> 有効 <input checked="" type="radio"/> 無効 |
| HTTP機能          | <input checked="" type="radio"/> 有効 <input type="radio"/> 無効 |
| HTTPポート         | 80   |
| TELNET機能        | <input checked="" type="radio"/> 有効 <input type="radio"/> 無効 |
| TELNETポート       | 23   |
| リンク速度とDuplex    | 自動検知   |
| IPフィルター機能       | <input type="radio"/> 有効 <input checked="" type="radio"/> 無効 |
| 子機グループ          | Disabled   |
| ホスト側MACアドレス     | 00:09:EE:01:58:11  |

適用 リセット

**注意** 一斉電源制御受付状態になるとWEB画面にアクセスすることができません。本装置と通信するためにはTELNET通信においてSupervisor権限でログインする必要があります。

TELNET通信はデフォルトでは「無効」となっています。(画像の緑の枠)一斉電源制御受付状態にする場合、「TELNET機能」を「有効」に設定にしてください。

## [2] 受付状態解除方法

- 1) TELNET通信において, Supervisor権限でログインしてください。
- 2) ログイン後, 「.broadGroup=0」と入力し, エコーが返ってきたなら, 「write」コマンドによって受付状態無効を書き込みます。
- 3) その後, 「cpureset」と入力しEnterキーを押してください。

受付状態が無効になったため, WEB画面にアクセスすることが可能になっています。

第4章  
WEBブラウザ  
での設定, 制御

## 1. ログイン

### [1] IPアドレスを固定にして利用する場合

インターネットでアクセスする場合は、通信機器の設定が必要です。通信機器の設定などは通信機器のマニュアルに従ってください。

(PROXY経由ではご利用になれません)

注意 ブラウザはJavaScriptとフレームに対応している必要があります。

推奨ブラウザは弊社HP「よくある質問」をご覧ください。

<https://www.meikyo.co.jp/faq/>

- 1) WEBブラウザを起動し、本装置に設定されたIPアドレスを指定してアクセスします。

(例 IPアドレス : 192.168.10.1 )

HTTPポート番号「80」デフォルトの場合

http://192.168.10.1

HTTPポート番号「500」に設定した場合

http://192.168.10.1:500

- 2) ブラウザ依存のユーザー名/パスワード入力用のポップアップ画面が表示されます。

ログイン  
http://192.168.10.1  
このサイトへの接続ではプライバシーが保護されません  
ユーザー名 admin  
パスワード ●●●●  
ログイン キャンセル

注意 ブラウザによっては、ポップアップ画面がアドレス入力画面の裏に隠れている場合があります。

3)ユーザーIDとパスワードを入力し,「OK」ボタンをクリックします。

ユーザーID : admin (デフォルト)

パスワード : magic (デフォルト)

4)簡易情報表示画面が表示されます。

簡易情報表示画面

| 簡易情報表示   |          |    |    |
|----------|----------|----|----|
| 更新       |          |    |    |
| アウトレット情報 |          |    |    |
| No.      | アウトレット名称 | 監視 | 電源 |
| 1        | Outlet1  |    | ON |
| 2        | Outlet2  |    | ON |
| 機器情報     |          |    |    |
| 機器名称     | Noname   |    |    |

**注意** 簡易情報表示は現在の本装置の状態を表示する画面で実際に制御することは出来ません。

電源制御可能な他のユーザー (Admin, Control権限) がログイン中の場合, 当該方法にて新たにログインすることはできません。

ただし, Ident, Supervisor権限ではログインすることが可能です。

(ユーザーアカウントの設定については, 「第4章 Webブラウザでの設定, 制御」の「セキュリティ設定」をご確認ください。)

リブーターの画面をWEBブラウザで開いている際, セキュリティの観点から, 別タブにて別ページを閲覧しないようにしてください。

## [2] RPCサーチソフトを利用する場合

当社ホームページ(<https://www.meikyo.co.jp/download/>)よりRPCサーチソフトをダウンロードし、ご利用して頂ければDHCP機能を利用した本装置を検索し接続することができます。

設定用PCと本装置とは、DHCPサーバーの存在するLANに接続します。

- 1) RPCサーチソフトを起動し、「検索」ボタンをクリックします。

RPCサーチソフト機器検索画面



- 2) 機器一覧にある本装置を選択し、「WEB接続」ボタンをクリックする。  
または「TELNET接続」ボタンをクリックし、本装置に設定されたユーザー名とパスワードを入力してアクセスします。
- 3) ユーザー名(デフォルト:admin)とパスワード(デフォルト:magic)を入力します。

注意 :「WEB接続」の場合はブラウザ依存のユーザー名/パスワード入力用のポップアップ画面が表示されます。

- 4)簡易情報表示画面が表示されます。

注意 「LINK」LEDと「ACT」LEDが、いつまでも交互に点滅している時は、DHCPによるアドレス取得ができない状態です。DHCPサーバーを確認するか、IPアドレスを固定にしてご利用ください。

## 2. 設定項目

### [0] 入力可能な半角文字について

WEB画面の各種設定項目にて「半角英数記号\_字以内」となっている項目については下記の図のとおりとなります。

|             |    | 下1桁   |   |   |   |    |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |
|-------------|----|-------|---|---|---|----|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
|             |    | 0     | 1 | 2 | 3 | 4  | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | A | B | C | D | E | F |
| 上<br>1<br>桁 | 20 | space | ! | " | # | \$ | % | & | ' | ( | ) | * | + | , | - | . | / |
|             | 30 | 0     | 1 | 2 | 3 | 4  | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | : | ; | < | = | > | ? |
|             | 40 | @     | A | B | C | D  | E | F | G | H | I | J | K | L | M | N | O |
|             | 50 | P     | Q | R | S | T  | U | V | W | X | Y | Z | [ | ¥ | ] | ^ | _ |
|             | 60 | `     | a | b | c | d  | e | f | g | h | i | j | k | l | m | n | o |
|             | 70 | p     | q | r | s | t  | u | v | w | x | y | z | { |   | } | ~ |   |

→使える文字
  →使えない文字
  →各種権限ログインID, パスワードには使用不可

そして、「半角\_字以内」となっている項目は  
上記の表の文字に加えて、半角カナも使用可能です。

ただし、

・「通信設定」-「メール設定」-「メールサーバー設定」の「パスワード」  
に関しては、

|             |    | 下1桁   |   |   |   |    |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |
|-------------|----|-------|---|---|---|----|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
|             |    | 0     | 1 | 2 | 3 | 4  | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | A | B | C | D | E | F |
| 上<br>1<br>桁 | 20 | space | ! | " | # | \$ | % | & | ' | ( | ) | * | + | , | - | . | / |
|             | 30 | 0     | 1 | 2 | 3 | 4  | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | : | ; | < | = | > | ? |
|             | 40 | @     | A | B | C | D  | E | F | G | H | I | J | K | L | M | N | O |
|             | 50 | P     | Q | R | S | T  | U | V | W | X | Y | Z | [ | ¥ | ] | ^ | _ |
|             | 60 | `     | a | b | c | d  | e | f | g | h | i | j | k | l | m | n | o |
|             | 70 | p     | q | r | s | t  | u | v | w | x | y | z | { |   | } | ~ |   |

→使える文字
  →使えない文字

となります。

## [1] 基本設定

### (1) 基本設定

- 1) 画面左側設定項目の「基本設定」をクリックします。  
基本設定画面が表示されます。

#### 基本設定画面

基本設定

基本設定
詳細設定
セキュリティ設定

総合管理設定

PCによる時刻設定
時刻設定

※特殊記号は利用できません。

機器設定

機器名称

設置場所

| No. | アウトレット名称  | OFF遅延   | 再投入  | ON遅延  | 起動時   | 連動 |
|-----|---|---|--|---|---|----|
| 1   | <input style="width: 80px;" type="text" value="Outlet1"/> | <input style="width: 20px;" type="text" value="0"/> | <input style="width: 20px;" type="text" value="10"/> | <input style="width: 20px;" type="text" value="1"/> | <input style="width: 20px;" type="text" value="1"/> | ▼  |
| 2   | <input style="width: 80px;" type="text" value="Outlet2"/> | <input style="width: 20px;" type="text" value="0"/> | <input style="width: 20px;" type="text" value="10"/> | <input style="width: 20px;" type="text" value="2"/> | <input style="width: 20px;" type="text" value="2"/> | ▼  |

全アウトレット再投入

(単位: 秒)

※OFF遅延を「-1」にするとOFF操作を使用不可にします。  
 ※ON遅延を「-1」にすると自動で電源出力を開始しません。

LEDによる状態表示機能

無効
  有効

Wake on LAN設定

|             | MACアドレス  |
|-------------|--|
| アウトレット1     | <input style="width: 100%;" type="text"/>            |
| アウトレット2     | <input style="width: 100%;" type="text"/>            |
| バケット送信回数    | <input style="width: 50px;" type="text" value="2"/>  |
| バケット送信間隔(秒) | <input style="width: 50px;" type="text" value="15"/> |

[送信テスト画面へ](#)

※対象アウトレットがOFFからON動作時に送信されます。  
 ※MACアドレスの形式: 00:00:00:00:00:00

適用
リセット

## <1> 総合管理設定

1) 総合管理設定の「時刻設定」をクリックします。時刻設定画面が表示されます。



### 【PCの時刻による設定】

「適用」をクリックすると接続されたPCの時刻に設定されます。

## <2> 機器設定

機器に関する設定をします。

「機器名称」: 機器名称を設定します。(全角9文字, 半角19文字以内)

「設置場所」: 設置場所を設定します。(全角31文字, 半角63文字以内)

① 「アウトレット名称」: 個別アウトレットの名称を設定します。  
(全角10文字, 半角20文字以内)

② 「OFF遅延」

個別アウトレットの電源出力を停止する際のOFF遅延時間(秒数)を設定します。

「-1」設定は、電源OFF操作を禁止にし、リブート操作のみ有効とします。ルーターやハブなど誤操作による電源OFFを避けたい場合に便利です。(電源切断により、ネットワークへアクセスできなくなるケースを回避します。)

遅延時間は以下の操作を行う際に適用されます。

- ・個別アウトレット制御のOFF操作
- ・全アウトレット制御のOFF操作

デフォルト : 0

設定可能値 : -1 ~ 3600(秒)

「-1」 : アウトレット制御のOFF操作を使用不可にします。リブート操作のみ可能です。

「0」 : 即座に電源出力を停止します。

「1~3600」 : 指定した時間遅延させた後、電源出力を停止します。

③ 「再投入」

個別アウトレットの電源出力を停止してから開始するまでの時間を設定します。この設定により、接続された任意のデバイスに最適なりブート時間を確保できます。

再投入時間は以下の操作を行う際に適用されます。

- ・個別アウトレット制御のリブート操作

デフォルト : 10

設定可能値 : 8 ~ 3600(秒)

④ 「ON遅延」

個別アウトレットの電源出力を開始するまでの時間を設定します。この設定により、指定した順番に、指定したタイミングで個別アウトレットの電源出力を開始させることができます。

遅延時間は以下の操作を行う際に適用されます。

- ・全アウトレット制御のON操作
- ・全アウトレット制御のリブート操作(関連は「全アウトレットREBOOT時間」で)

デフォルト : No.1→1(秒) No.2→2(秒)

設定可能値 : -1 ~ 3600(秒)

「 -1 」 : 自動で電源出力を開始しません。

「 0 」 : 即座に電源出力を開始します。

「 1~3600 」 : 指定した時間遅延させた後、電源出力を開始します。

⑤ 「起動時」

起動時の電源出力を開始するまでの時間を設定します。

設定方法は ④「ON遅延」と同様です。

⑥ 「連動」

指定したアウトレットの動作に連動します。

⑦ 「全アウトレット再投入時間」

全アウトレットの電源出力を停止してから電源出力を開始するまでの時間を設定します。

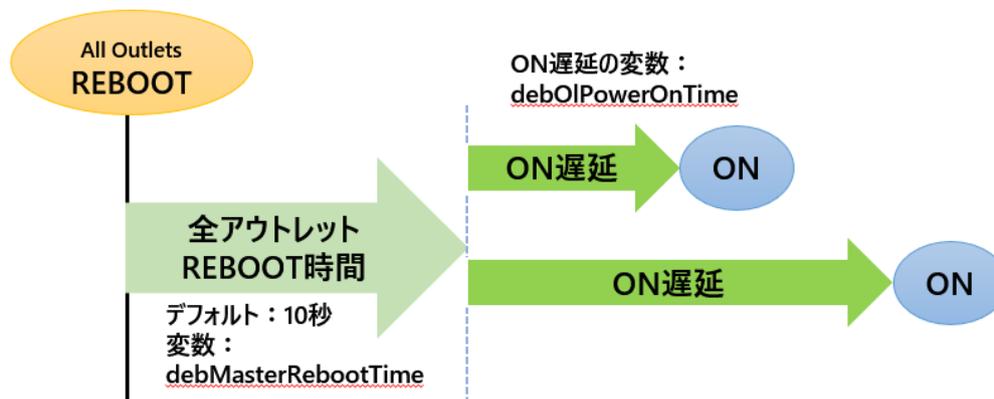
再投入時間は以下の操作を行う際に適用されます。

注)個別アウトレットの再投入時間は反映されません。

- ・全アウトレット制御のリブート操作

デフォルト :10

設定可能値 :8~3600(秒)



- ⑧ 「LEDによる状態表示機能」 デフォルト:有効  
 有効: 各LEDの状態表示が動作します。  
 無効: PILOT, OUTLET LEDの点滅動作はなくなり, 点灯または消灯となります。

### <3> Wake on LAN設定

Wake on LANに関する設定をします。

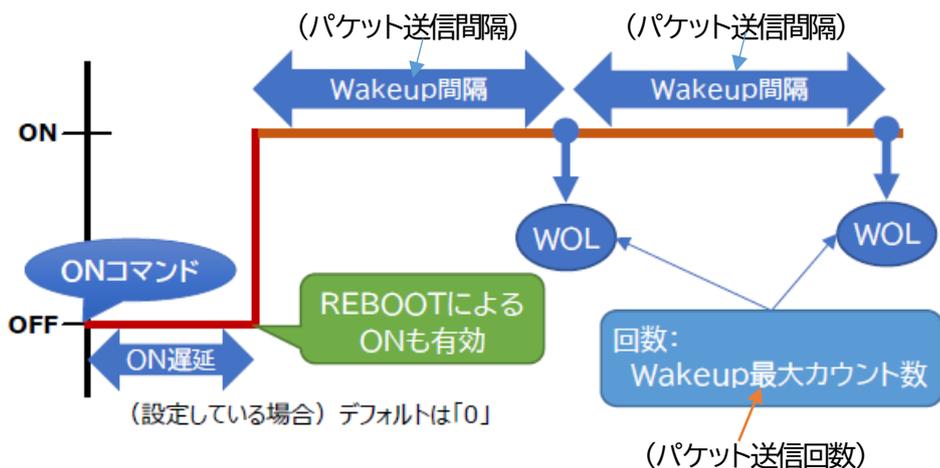
Wake on LAN(WOL)機能について

Wake on LAN対応の機器を電源出力開始と同時にマジックパケットを送信し, ブートアップさせることができます。

注意      アウトレットの電源状態がOFFからONになるときにマジックパケットが送出されます。そのため, **アウトレットがONの状態時に「電源ONコマンド」を実行してもWOLは実行されません。**「電源REBOOTコマンド」であれば, WOLを実行できます。または, 仮想アウトレット制御をご使用ください。

アウトレット1~2                      デフォルト                      :    00:00:00:00:00:00  
 MACアドレス  
 パケット送信回数(回)              デフォルト                      :    2  
 パケット送信間隔(秒)              デフォルト                      :    15

- \* パケット送信回数は仮想アウトレットと共用です。
- \* パケット送信間隔は仮想アウトレットと共用です。
- \* アウトレットがONした時, マジックパケットを送出します。



1) 設定が終了しましたら「適用」をクリックします。

- 2)「送信テスト画面へ」をクリックし, 送信テスト画面を表示させWake on LAN送信テストの各アウトレットの「送信」をクリックすると設定されている「MACアドレス」へマジックパケットを送信します。

送信テスト画面

送信テスト

Wake on LAN 送信テスト

アウトレット1 送信

アウトレット2 送信

メール送信テスト

テストメール送信 送信

[エラーメッセージ確認]

## (2) 詳細設定

本装置の仮想アウトレットに関する設定をします。

仮想アウトレットについて

仮想アウトレットとは、実際には存在しないアウトレットであり、関連付けされたMACアドレスへマジックパケットを送出して、Wake on Lan機能を実現させるためのものです。

基本設定項目の「詳細設定」をクリックします。詳細設定画面が表示されます。

詳細設定画面

※特殊記号は利用できません。

| No. | 仮想アウトレット名称 | MACアドレス | ON遅延 |
|-----|------------|---------|------|
| 1   |            |         | 0 秒  |
| 2   |            |         | 0 秒  |
| 3   |            |         | 0 秒  |
| 4   |            |         | 0 秒  |
| 5   |            |         | 0 秒  |
| 6   |            |         | 0 秒  |
| 7   |            |         | 0 秒  |
| 8   |            |         | 0 秒  |

※MACアドレスの形式 00:00:00:00:00:00

パケット送信回数: 2 回  
 パケット送信間隔: 15 秒

適用 リセット

### <1> 仮想アウトレット設定

仮想アウトレットに関する設定をします。

仮想アウトレット名称 : 仮想アウトレット名称を設定します。

全角10文字, 半角20文字以内

MACアドレス デフォルト : 00:00:00:00:00:00

ON遅延(※)(秒) デフォルト : 0  
(詳しくは次ページ図にて)

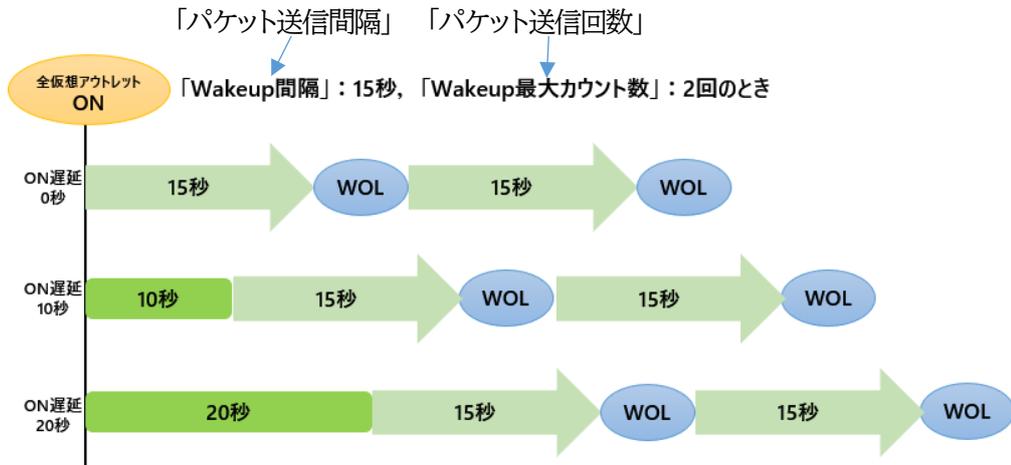
パケット送信回数(回) デフォルト : 2

パケット送信間隔(秒) デフォルト : 15

注意 本製品の仕様で、本体主電源投入時に「全仮想アウトレットON」のコマンドが発報されます。（「イベントログ」記録開始前に実行されるため、ログには記録されずに実行されます。）

●(※)「ON遅延」について●

「電源制御-仮想アウトレット制御-仮想アウトレット情報」で「全仮想アウトレット」を[電源ON]にしたときに、このON遅延が発生します。



設定が終了しましたら「適用」をクリックします。

注意 「適用」ボタンをクリックしないと設定した内容が有効になりません。

### (3) セキュリティ設定

本装置にセキュリティに関する設定をします。

#### <1> ユーザーアカウント設定

(WEBからのログイン時に有効)

- TELNETでのログインで使用するID, パスワードはここでは設定できません。

- 1)「ユーザーアカウント設定」をクリックします。  
ユーザーアカウント設定画面が表示されます。

ユーザーアカウント設定画面

セキュリティ設定

ユーザーアカウント 設定
セキュリティ詳細設定
基本設定に戻る

※ 入力項目は半角英数のみ有効

Ident (システム情報の参照のみ)

HTTP 接続用

| No. | ユーザーID               | パスワード                    | No. | ユーザーID               | パスワード                    |
|-----|----------------------|--------------------------|-----|----------------------|--------------------------|
| 1   | <input type="text"/> | <input type="password"/> | 6   | <input type="text"/> | <input type="password"/> |
| 2   | <input type="text"/> | <input type="password"/> | 7   | <input type="text"/> | <input type="password"/> |
| 3   | <input type="text"/> | <input type="password"/> | 8   | <input type="text"/> | <input type="password"/> |
| 4   | <input type="text"/> | <input type="password"/> | 9   | <input type="text"/> | <input type="password"/> |
| 5   | <input type="text"/> | <input type="password"/> | 10  | <input type="text"/> | <input type="password"/> |

Control (システム情報参照と電源の制御のみ)

HTTP 接続用

| No. | ユーザーID               | パスワード                    | No. | ユーザーID               | パスワード                    |
|-----|----------------------|--------------------------|-----|----------------------|--------------------------|
| 1   | <input type="text"/> | <input type="password"/> | 6   | <input type="text"/> | <input type="password"/> |
| 2   | <input type="text"/> | <input type="password"/> | 7   | <input type="text"/> | <input type="password"/> |
| 3   | <input type="text"/> | <input type="password"/> | 8   | <input type="text"/> | <input type="password"/> |
| 4   | <input type="text"/> | <input type="password"/> | 9   | <input type="text"/> | <input type="password"/> |
| 5   | <input type="text"/> | <input type="password"/> | 10  | <input type="text"/> | <input type="password"/> |

Admin

HTTP 接続用

| No. | ユーザーID               | パスワード                    | No. | ユーザーID               | パスワード                    |
|-----|----------------------|--------------------------|-----|----------------------|--------------------------|
| 1   | admin                | ●●●●●                    | 4   | <input type="text"/> | <input type="password"/> |
| 2   | <input type="text"/> | <input type="password"/> | 5   | <input type="text"/> | <input type="password"/> |
| 3   | <input type="text"/> | <input type="password"/> |     |                      |                          |

Supervisor

HTTP接続用

| No. | ユーザーID               | パスワード                    | No. | ユーザーID               | パスワード                    |
|-----|----------------------|--------------------------|-----|----------------------|--------------------------|
| 1   | super                | ●●●●●●●                  | 4   | <input type="text"/> | <input type="password"/> |
| 2   | <input type="text"/> | <input type="password"/> | 5   | <input type="text"/> | <input type="password"/> |
| 3   | <input type="text"/> | <input type="password"/> |     |                      |                          |

適用
リセット

Ident : (HTTP接続用)システム情報の参照のみ  
(※ 最大10件登録)

Control : (HTTP接続用)システム情報参照と電源の制御のみ  
(※ 最大10件登録)

Admin : (HTTP接続用)全ての権限  
(※ 最大5件登録)  
ユーザーID(デフォルト : admin) パスワード(デフォルト: magic)

Supervisor : (HTTP接続用)システム情報の参照とCPUリセット機能のみ  
(※ 最大5件登録)  
ユーザーID(デフォルト : super) パスワード(デフォルト: illusion)

ユーザーID : 最大半角英数記号8文字 (重複不可) (@は使用不可)  
パスワード : 最大半角英数記号16文字 (重複可)

|         | Ident | Control | Admin | Supervisor |
|---------|-------|---------|-------|------------|
| 簡易状態表示  | ○     | ○       | ○     | ○          |
| 監視状態表示  | ○     | ○       | ○     | ○          |
| イベントログ  | ×     | ×       | ○     | ×          |
| 電源制御    | ×     | ○       | ○     | ×          |
| 各種設定    | ×     | ×       | ○     | ×          |
| CPUリセット | ×     | ×       | ○     | ○          |

2)設定が終了しましたら「適用」をクリックします。

注意 TELNET接続で使用するID, パスワードに関しては「第6章」1.をご覧ください。

## <2> セキュリティ詳細設定

1)「セキュリティ詳細設定」をクリックします。セキュリティ詳細設定画面が表示されます。

セキュリティ詳細設定画面

セキュリティ設定

ユーザーアカウント設定
セキュリティ詳細設定
基本設定に戻る

IPフィルター設定

| IPフィルター機能 | <input type="radio"/> 有効 <input checked="" type="radio"/> 無効   |
|-----------|--|
| アドレス1     | <input style="width: 100%;" type="text" value="192.168.10.0"/> |
| アドレス2     | <input style="width: 100%;" type="text"/>                      |
| アドレス3     | <input style="width: 100%;" type="text"/>                      |
| アドレス4     | <input style="width: 100%;" type="text"/>                      |
| アドレス5     | <input style="width: 100%;" type="text"/>                      |
| アドレス6     | <input style="width: 100%;" type="text"/>                      |
| アドレス7     | <input style="width: 100%;" type="text"/>                      |
| アドレス8     | <input style="width: 100%;" type="text"/>                      |
| アドレス9     | <input style="width: 100%;" type="text"/>                      |
| アドレス10    | <input style="width: 100%;" type="text"/>                      |

Ident Control権限の表示操作制限

|                      |  |
|----------------------|--|
| 監視状態表示               | <input type="radio"/> 隠す <input checked="" type="radio"/> 表示 |
| 仮想アウトレット制御<br>一斉電源制御 | <input type="radio"/> 隠す <input checked="" type="radio"/> 表示 |
| 電源ONボタン              | <input type="radio"/> 隠す <input checked="" type="radio"/> 表示 |
| 電源OFFボタン             | <input type="radio"/> 隠す <input checked="" type="radio"/> 表示 |
| 電源リポートボタン            | <input type="radio"/> 隠す <input checked="" type="radio"/> 表示 |
| アウトレット1 関連           | <input type="radio"/> 隠す <input checked="" type="radio"/> 表示 |
| アウトレット2 関連           | <input type="radio"/> 隠す <input checked="" type="radio"/> 表示 |
| 全アウトレット制御ボタン         | <input type="radio"/> 隠す <input checked="" type="radio"/> 表示 |

機器制御

バージョンアップ機能 有効

適用
リセット

① IPフィルター設定

|           |   |                                   |
|-----------|---|-----------------------------------|
| IPフィルター機能 | : | [有効] [無効]                         |
| アドレス      | : | 192.168.10.0(デフォルト)<br>(最大10アドレス) |

★「IPフィルター」に関して、次のページに詳細説明があります。

② Ident Control権限の表示制限

|              |   |       |
|--------------|---|-------|
| 監視状態表示       | : | 隠す 表示 |
| 仮想アウトレット制御   | : | 隠す 表示 |
| 一斉電源制御       | : |       |
| 電源ONボタン      | : | 隠す 表示 |
| 電源OFFボタン     | : | 隠す 表示 |
| 電源リブートボタン    | : | 隠す 表示 |
| アウトレット1-2関連  | : | 隠す 表示 |
| 全アウトレット制御ボタン | : | 隠す 表示 |

「隠す」にチェックするとIdent, Control権限でログインした時の各表示を隠すことが出来ます。

③ 機器制御：バージョンアップ機能

|               |                                   |
|---------------|-----------------------------------|
| [無効]:         | ファームウェア更新機能を無効にします。               |
| [ローカルファイルのみ]: | ファームウェア更新をローカルからのみ有効にします。         |
| [オンラインのみ]:    | ファームウェア更新を明京サーバーからのみ有効にします。       |
| [有効]:         | ファームウェア更新をローカル/明京サーバーの両方から有効にします。 |

2)設定が終了しましたら「適用」をクリックします。

|    |                               |
|----|-------------------------------|
| 注意 | 「適用」をクリックしないと設定した内容が有効になりません。 |
|----|-------------------------------|

## ■IPフィルターについて

細かに設定する場合、TELNETで変数を用いて設定する必要があります。

関係する変数名

IPフィルターアドレス : ipFilterAddr (WEB画面でも設定可能)  
 IPフィルターマスク : ipFilterMask (WEB画面には項目がない)

IPフィルター機能はビット単位のマスク機能です。(IPv4のサブネットマスク)

基本的にマスクを「255」にすると「必ずその値でなければならない」となり、

「0」にすると「その部分はあらゆる数値をとれる」となります。

ですので、ipFilterMask=255.255.255.0

ipFilterAddr=192.168.10.0 とすると、

「192.168.10.1~192.168.10.254」から接続可能になります。

### (1)指定のIPアドレスからのみアクセスできるようにする場合

例:「192.168.1.119」「10.149.15.12」「10.46.48.111」の3つのアドレスからのアクセスのみ受け付けたい。

ipFilterMask=255.255.255.255 にすることで、そのアドレスのみ可能にできます。

TELNETで、次の変数を書き込みます。

(変数なので、初めに「.(ピリオド)」が必要です。)(区切りに「,(コンマ)」を使っています)

ipFilterMask=255.255.255.255,255.255.255.255,255.255.255.255

ipFilterAddr=192.168.1.119,10.149.15.12,10.46.48.111

この後「>」の後に「write」を入力してEnterを押すことで設定が書き込まれます。

### (2)ある範囲のIPアドレスからのみアクセスできるようにする場合

例| 「192.168.10.1~192.168.10.150」まで接続可能にしたい場合

まず「192.168.10.」の部分は「必ずその値であるべき」なのでマスクは「255.255.255.」で始めます。最後の一枚に関して2進法を使って設定していきます。

「150」を2進法で表すと「10010110」となります。つまり、128+16+4+2です。【2進法の「1」に注目しています。】

このとき「128」,「128+16=144」,「128+16+4=148」,「128+16+4+2=150」の4つを区切りとして考えます。

【ipFilterMaskルール】

2進法にして「0」→「0,1両方可」, 「1」→「固定部分」とマスクをかける。

|         | x=0,どちらでも<br>網掛け=固定 | ipFilterMask<br>2進法 | ipFilterAddr<br>2進法 |   | ipFilterMask<br>10進法 | ipFilterAddr<br>10進法 |
|---------|---------------------|---------------------|---------------------|---|----------------------|----------------------|
| 1~127   | 0xxxxxxx            | 1 0 0 0 0 0 0 0     | 0 0 0 0 0 0 0 0     | → | 128                  | 0                    |
| 128~143 | 1000xxxx            | 1 1 1 1 0 0 0 0     | 1 0 0 0 0 0 0 0     | → | 240                  | 128                  |
| 144~147 | 100100xx            | 1 1 1 1 1 1 0 0     | 1 0 0 1 0 0 0 0     | → | 252                  | 144                  |
| 148~149 | 1001010x            | 1 1 1 1 1 1 1 0     | 1 0 0 1 0 1 0 0     | → | 254                  | 148                  |
| 150     | 10010110            | 1 1 1 1 1 1 1 1     | 1 0 0 1 0 1 1 0     | → | 255                  | 150                  |

となるので, TELNETで次の変数を書き込みます。

(変数なので, 初めに「.(ピリオド)」が必要です。)(区切りに「,(コンマ)」を使っています)

.ipFilterMask=255.255.255.128,255.255.255.240,255.255.255.252,255.255.255.254,255.255.255.255

.ipFilterAddr=192.168.10.0,192.168.10.128,192.168.10.144,192.168.10.148,192.168.10.150

この後「>」の後に「write」を入力してEnterを押すことで設定が書き込まれます。

例2 「192.168.10.151~192.168.10.254」まで接続可能にしたい場合

これも最後の一寸だけ考えます。

「151」を2進法で表すと「10010111」となります。この数字から255を目指すので, 今度は2進法の「0」に注目すると, あと「8+32+64」あれば255になります。(IPアドレスで255は使用しません。ただフィルターのマスクを考えるにあたっては便宜上255をイメージします)

このとき「151」, 「151+8=159」, 「151+8+32=191」, 「151+8+32+64=255」の4つで考えます。

【ipFilterMaskルール】

2進法にして「0」→「0,1両方可」, 「1」→「固定部分」とマスクをかける。

|         | x=0,どちらでも<br>網掛け=固定 | ipFilterMask<br>2進法 | ipFilterAddr<br>2進法 |   | ipFilterMask<br>10進法 | ipFilterAddr<br>10進法 |
|---------|---------------------|---------------------|---------------------|---|----------------------|----------------------|
| 151     | 10010111            | 1 1 1 1 1 1 1 1     | 1 0 0 1 0 1 1 1     | → | 255                  | 151                  |
| 152~159 | 10011xxx            | 1 1 1 1 1 0 0 0     | 1 0 0 1 1 0 0 0     | → | 248                  | 152                  |
| 160~191 | 101xxxxx            | 1 1 1 0 0 0 0 0     | 1 0 1 0 0 0 0 0     | → | 224                  | 160                  |
| 192~255 | 11xxxxxx            | 1 1 0 0 0 0 0 0     | 1 1 0 0 0 0 0 0     | → | 192                  | 192                  |

となるので, TELNETで次の変数を書き込みます。

(変数なので, 初めに「.(ピリオド)」が必要です。)(区切りに「,(コンマ)」を使っています)

.ipFilterMask=255.255.255.255,255.255.255.248,255.255.255.224,255.255.255.192

.ipFilterAddr=192.168.10.151,192.168.10.152,192.168.10.160,192.168.10.192

この後「>」の後に「write」を入力してEnterを押すことで設定が書き込まれます。

これで「192.168.10.151~192.168.10.254」だけが接続できるようになりました。

## [2] 通信設定

本装置のネットワークに関する設定をします。

### (1) 通信基本設定

1)「通信基本設定」をクリックします。通信基本設定画面が表示されます。

通信基本設定画面

通信基本設定

通信設定 通信詳細設定 メール設定

※ 入力項目は半角英数のみ有効

ネットワーク設定

|               |  |
|---------------|--|
| IPアドレス        | 192.168.10.1   |
| サブネットマスク      | 255.255.255.0  |
| デフォルトゲートウェイ   |  |
| DNSサーバーアドレス   |  |
| DHCP機能        | <input type="radio"/> 有効 <input checked="" type="radio"/> 無効 |
| NTPサーバー       |  |
| NTP更新間隔       | 6 (1=10分)  |
| HTTP機能        | <input checked="" type="radio"/> 有効 <input type="radio"/> 無効 |
| HTTP認証        | Digest   |
| 認証領域(realm)名称 | RPC-M2OS   |
| nonce有効時間     | 180  |
| HTTPポート       | 80   |
| TELNET機能      | <input type="radio"/> 有効 <input checked="" type="radio"/> 無効 |
| TELNETポート     | 23   |
| TELNET中継先 IP  |  |
| TELNET中継先 ポート | 23   |
| リンク速度とDuplex  | 自動検知   |
| 自動ログアウト監視     | <input checked="" type="radio"/> 有効 <input type="radio"/> 無効 |

※ネットワーク設定はCPUリセット後に有効になります。

関連項目

|              |  |
|--------------|--|
| 無通信タイマー(秒)   | 600  |
| WEB自動更新機能    | <input type="radio"/> 有効 <input checked="" type="radio"/> 無効 |
| WEB自動更新間隔(秒) | 30   |

ダイレクトWEBコマンド制御

|                    |  |
|--------------------|--|
| ダイレクトWEBコマンド実行後の動作 | <input type="radio"/> 有効 <input checked="" type="radio"/> 無効 [?]<br>標準         |
| アウトレット表示制限         | 1 2<br><input checked="" type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/> |
| 表示制限               | 死活表示 <input checked="" type="checkbox"/>                                       |

適用 リセット

① ネットワーク設定

|               |       |   |   |
|---------------|-------|---|---|
| IPアドレス        | デフォルト | : | 192.168.10.1  |
| サブネットマスク      | デフォルト | : | 255.255.255.0   |
| デフォルトゲートウェイ   | デフォルト | : | 0.0.0.0   |
| DNSサーバーアドレス   | デフォルト | : | 0.0.0.0   |
| DHCP機能        | デフォルト | : | 無効  |
| NTPサーバー       | デフォルト | : | 0.0.0.0   |
| NTP更新間隔       | デフォルト | : | 6(×10分)   |
| HTTP機能        | デフォルト | : | 有効  |
| HTTP認証        | デフォルト | : | Digest認証  |
| 認証領域(realm)名称 | デフォルト | : | RPC-M2CS<br>(半角20文字以内)  |
| nonce有効時間     | デフォルト | : | 180 (秒)<br>設定可能値<br>30~30000  |
| HTTPポート       | デフォルト | : | 80  |
| TELNET機能      | デフォルト | : | 無効  |
| TELNETポート     | デフォルト | : | 23  |
| TELNET中継先IP   | デフォルト | : | 0.0.0.0   |
| TELNET中継先ポート  | デフォルト | : | 23  |
| リンク速度とDuplex  | デフォルト | : | [自動検知]<br>[100Mbps 全二重]<br>[100Mbps 半二重]<br>[10Mbps 全二重]<br>[10Mbps 半二重]<br>も選択可能 |
| 自動ログアウト監視     | デフォルト | : | 有効  |

注意 HTTP認証を「none」に設定するとブラウザでアクセス時にログイン画面が表示されます。  
「Basic」または「Digest」に設定するとブラウザ依存のポップアップ画面にIDとパスワードを入力する方式になります。

外部のネットワークから接続するため、IPアドレスを固定にしてルーターのポートフォワーディング機能を利用する場合は、DHCPを無効にしてください。

注意 DHCP利用中、IPアドレスの取り直しが行われると本装置は自動的にCPU RESETを行います。

② 関連項目

- 無通信タイマー : 自動ログアウトまでの時間を設定します。  
デフォルト : 600  
設定可能値 : 30 ~ 30000 (秒)
- WEB自動更新機能 : デフォルト 無効  
(「無効」にしても、電源制御画面だけは必ず自動更新されます。)
- WEB自動更新間隔 : WEBと電源制御画面の自動更新間隔時間を設定します。  
デフォルト : 30

③ ダイレクトWEBコマンド制御

- ダイレクトWEBコマンド : デフォルト [無効]
- 実行後の動作 : 実行後の動作を設定します。
- アウトレット表示制限 : チェックしたアウトレットを表示します。
- 表示制限 : チェックした表示制限項目を表示します。

|    |  |
|----|--|
| 注意 | ダイレクトWEBコマンドについては「第6章 その他の制御」の「5. WEBコマンドからの制御」をご確認ください。 |
|----|--|

2)設定が終了しましたら「適用」をクリックします。

## (2) 通信詳細設定

1)「通信詳細設定」をクリックします。通信詳細設定画面が表示されます。

通信詳細設定画面

**通信詳細設定**

通信設定
通信詳細設定
メール設定

※ 入力項目は半角英数のみ有効

**SNMP基本設定**

|                  |  |
|------------------|--|
| <b>SET GET設定</b> | <input type="radio"/> 有効 <input checked="" type="radio"/> 無効 |
| GETコミュニティ名       | <input type="text" value="pub lic"/>                         |
| SETコミュニティ名       | <input type="text" value="pub lic"/>                         |
| TRAPコミュニティ名      | <input type="text" value="pub lic"/>                         |
| マネージャートラップ       | <input type="radio"/> 有効 <input checked="" type="radio"/> 無効 |
| Authen Trap      | <input type="radio"/> 有効 <input checked="" type="radio"/> 無効 |
| トラップIPアドレス1      | <input type="text"/>   |
| トラップIPアドレス2      | <input type="text"/>   |
| トラップIPアドレス3      | <input type="text"/>   |
| トラップIPアドレス4      | <input type="text"/>   |
| トラップIPアドレス5      | <input type="text"/>   |
| トラップIPアドレス6      | <input type="text"/>   |
| トラップIPアドレス7      | <input type="text"/>   |
| トラップIPアドレス8      | <input type="text"/>   |

※ネットワーク設定はCPUリセット後に有効になります。

**SNMPフィルター設定**

有効  無効

|    | フィルターIPアドレス          | フィルターマスク                                     |
|----|----------------------|--|
| 1  | <input type="text"/> | <input type="text" value="255.255.255.255"/> |
| 2  | <input type="text"/> | <input type="text" value="255.255.255.255"/> |
| 3  | <input type="text"/> | <input type="text" value="255.255.255.255"/> |
| 4  | <input type="text"/> | <input type="text" value="255.255.255.255"/> |
| 5  | <input type="text"/> | <input type="text" value="255.255.255.255"/> |
| 6  | <input type="text"/> | <input type="text" value="255.255.255.255"/> |
| 7  | <input type="text"/> | <input type="text" value="255.255.255.255"/> |
| 8  | <input type="text"/> | <input type="text" value="255.255.255.255"/> |
| 9  | <input type="text"/> | <input type="text" value="255.255.255.255"/> |
| 10 | <input type="text"/> | <input type="text" value="255.255.255.255"/> |

**状態通知機能**

有効  無効

|         | 状態通知機能 |  |
|---------|--------|--|
| 1       | IPアドレス | <input type="text" value="192.168.1.235"/> |
|         | ポート    | <input type="text" value="5000"/>          |
| 2       | IPアドレス | <input type="text"/>                       |
|         | ポート    | <input type="text" value="5000"/>          |
| 3       | IPアドレス | <input type="text"/>                       |
|         | ポート    | <input type="text" value="5000"/>          |
| 送信間隔(秒) |        | <input type="text" value="30"/>            |

適用
リセット

**<1> SNMP基本設定**

SNMPに関する設定をします。

## ① SNMP基本設定

|             |       |   |                                    |
|-------------|-------|---|------------------------------------|
| SET GET設定   |       | : | [有効] [無効]                          |
| GETコミュニティ名  | デフォルト | : | public<br>(全角10文字<br>半角英数記号20文字以内) |
| SETコミュニティ名  | デフォルト | : | public<br>(全角10文字<br>半角英数記号20文字以内) |
| TRAPコミュニティ名 | デフォルト | : | public<br>(全角10文字<br>半角英数記号20文字以内) |
| マネージャートラップ  |       | : | [有効] [無効]                          |
| AuthenTrap  |       | : | [有効] [無効]                          |
| トラップIPアドレス  | デフォルト | : | 0.0.0.0<br>(最大8IPアドレス)             |

注意 「SET GET設定」を変更するには、[適用]クリック後、「CPUリセット」を行う必要があります。

## ② SNMPフィルター設定

|             |       |   |                               |
|-------------|-------|---|-------------------------------|
| SNMPフィルター機能 |       | : | [有効] [無効]                     |
| フィルターIPアドレス | デフォルト | : | 0.0.0.0                       |
| フィルターマスク    | デフォルト | : | 255.255.255.255<br>(最大10アドレス) |

## ③ 状態通知機能

|               |       |   |           |
|---------------|-------|---|-----------|
| 状態通知機能        |       | : | [有効] [無効] |
| 通知先 IPアドレス1-3 | デフォルト | : | 0.0.0.0   |
| 通知先 ポート1-3    | デフォルト | : | 5000      |
| 送信間隔(秒)       | デフォルト | : | 300       |

注意 状態通知機能については「第9章 ネットワーク稼働監視」をご確認ください。

2)設定が終了しましたら「適用」をクリックし、CPUリセットを実行します。

注意 「適用」ボタンをクリックしないと設定した内容が有効になりません。設定によっては、「CPUリセット」ボタンをクリックしないと設定した内容が有効になりません。

### (3) メール設定

メール機能に関する設定をします。

1)「メール設定」をクリックします。

メール設定画面

メール設定

通信設定
通信詳細設定
メール設定

※ 入力項目は半角英数のみ有効

メールサーバ設定

|              |   |
|--------------|---|
| ユーザー名        | <input type="text"/>  |
| パスワード        | <input type="password"/>  |
| メールアドレス      | <input type="text"/>  |
| 受信サーバ名       | <input type="text"/>  |
| 受信ポート        | <input type="text" value="110"/>  |
| 送信サーバ名       | <input type="text"/>  |
| 送信ポート        | <input type="text" value="25"/>   |
| 自動ログアウト時間(分) | <input type="text" value="10"/>   |
| メールチェック間隔(分) | <input type="text" value="3"/>  |
| メールリトライ間隔(秒) | <input type="text" value="10"/>   |
| メールサーバ形式     | <input type="radio"/> IMAP <input checked="" type="radio"/> POP3  |
| SMTP認証       | <input checked="" type="radio"/> 無効 <input type="radio"/> 有効  |
| IMAP認証       | <input checked="" type="checkbox"/> CRAM-MD5<br><input checked="" type="checkbox"/> LOGIN <input checked="" type="checkbox"/> PLAIN |
| APOP利用       | <input checked="" type="radio"/> 無効 <input type="radio"/> 有効  |

メール制御設定

|                                    |   |
|------------------------------------|---|
| メール制御コマンド <input type="checkbox"/> | <input type="radio"/> 無効 <input type="radio"/> 有効 |
| メール制御ユーザー名                         | <input type="text"/>                              |
| メール制御パスワード                         | <input type="password"/>                          |
| 送信メール 件名                           | 機器名称 <input type="text"/>                         |
| 送信メール 本文1行目                        | 日時又は積算時間  |
| 送信メール 本文2行目                        | 設置場所 <input type="text"/>                         |
| 送信メール 本文3行目                        | 機器IPアドレス <input type="text"/>                     |
| 送信メール 本文4行目                        | MACアドレス <input type="text"/>                      |
| 送信メール 本文5行目                        | ユーザー任意1 <input type="text"/>                      |
| 送信メール 本文6行目                        | イベント内容 <input type="text"/>                       |
| 送信メール 本文7行目                        | 表示無し <input type="text"/>                         |
| 送信メール 本文8行目                        | 表示無し <input type="text"/>                         |
| ユーザー任意1                            | <input type="text" value="admin"/>                |
| ユーザー任意2                            | <input type="text"/>                              |
| ユーザー任意3                            | <input type="text"/>                              |

**通知先設定**

| No.   | 通知先アドレス              |
|-------|----------------------|
| アドレス1 | <input type="text"/> |
| アドレス2 | <input type="text"/> |
| アドレス3 | <input type="text"/> |
| アドレス4 | <input type="text"/> |
| アドレス5 | <input type="text"/> |
| アドレス6 | <input type="text"/> |
| アドレス7 | <input type="text"/> |
| アドレス8 | <input type="text"/> |

送信条件フラグ

| No.   | F1                       | F3                       | F4                       |
|-------|--------------------------|--------------------------|--------------------------|
| アドレス1 | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
| アドレス2 | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
| アドレス3 | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
| アドレス4 | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
| アドレス5 | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
| アドレス6 | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
| アドレス7 | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
| アドレス8 | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |

F1:PING F3:スケジュール F4:ハートビート

ログ送信カウンタ

[\[送信テスト画面へ\]](#)

**メールサーバーからのエラーメッセージ情報**

クリア

エラーメッセージをネット検索すると解決策がわかる場合もあります

① メールサーバ設定

「ユーザー名」「パスワード」「メールアドレス」「受信サーバ名」「受信ポート」  
「送信サーバ名」「送信ポート」は、プロバイダからのメール資料に基づき設定します。

**注意**      **本製品はSSL/TLS通信に対応しておりません。**そのため、この「メールサーバ設定」(**リポーター側に設定する**メールアドレス)にGmailなどのSSL/TLSを用いたメールを設定することはできません。

ただし、「**通知先アドレス**」には、**SSL/TLSを用いたメールを設定することができます。**

|   |       |   |                 |
|---|-------|---|-----------------|
| 自動ログアウト時間(分)                            | デフォルト | : | 10              |
| メールチェック間隔(分)                            | デフォルト | : | 3               |
| メールリトライ間隔(秒)                            | デフォルト | : | 10              |
| (変数mailRetryCountで設定した回数送信します。デフォルト:3回) |       |   |                 |
| メールサーバ形式                                |       | : | [POP3][IMAP]を選択 |

SMTP認証 : 認証方法を選択  
[CRAM-MD5][LOGIN][PLAIN]

IMAP認証 : 認証方法を選択  
[CRAM-MD5][LOGIN]

APOP利用 : [有効] [無効]

② メール制御設定

メール制御コマンド : [有効] [無効]

★③の「通知先設定」に設定したメールアドレスからのみ制御できます。

メール制御ユーザ名 : 半角英数記号63文字以内

メール制御パスワード : 半角英数記号63文字以内

★使用可能な文字は「第4章」2.[0]参照。

送信メール 件名 [表示無し][機器名称][設置場所]  
[機器IPアドレス][MACアドレス]  
[イベント内容][ユーザー任意1~3]……(\*)  
より選択します。

送信メール 本文1行目 日時又は積算時間

送信メール 本文2行目

送信メール 本文3行目

送信メール 本文4行目

送信メール 本文5行目 上記(\*)の9つより選択

送信メール 本文6行目

送信メール 本文7行目

送信メール 本文8行目

ユーザー任意1~3 任意のメール通知文を設定  
全角21文字, 半角英数43文字以内

③ 通知先設定

通知先アドレス

通知するメールアドレスを設定します。

★メール制御は、ここに登録されているメールアドレスからしか実行できません。

最大8件設定できます。

TOで送信します。

(CC,BCCで送信する場合はTELNETで変数から設定します)

●「通知先アドレス」には、SSL/TLSを用いたメールを設定することができます

送信条件フラグ

3種類(PING/スケジュール/ハートビート)から選択できます。

チェックしたフラグに連動してメールが送信されます。

例えば、「PING」では死活監視が[異常]または[回復]に変化した時にメールを送信します。

ログ送信カウント : 設定した数だけログが更新されると通知先アドレスにログを送信します。  
(MAX:20 「0」の時は送信しません。)

- ④ メールサーバのエラーメッセージ情報  
メールに失敗した場合, エラー情報を表示します。  
クリアにチェックして「適用」をクリックすると消去できます。

2)設定が終了しましたら「適用」をクリックします。

3)「送信テスト画面へ」をクリックし, 送信テスト画面を表示させ, テストメール送信の「送信」をクリックすると設定されている通知先アドレスにテストメールを送信します。

送信テスト画面

**注意** 「適用」ボタンをクリックしないと設定した内容が有効になりません。設定によっては、「CPUリセット」ボタンをクリックしないと設定した内容が有効になりません。

リブーターの仕様上、「ユーザー名」「パスワード」が空欄の場合、リブーターからのメール送信は実行されません。そのため、メール制御は実行しないがメール通知は実行したい場合は、「ユーザー名」「パスワード」にダミーデータを設定する必要があります。

**リブーター側に設定したメールアドレスのメールサーバー内のメールは、メールチェック間隔でメールサーバー内のメールをチェックした後、削除されます。** ですので、**リブーターに設定するメールアドレスは専用のものを1つご用意ください。**

### [3] 監視設定

本装置の監視に関する設定をします。

#### (1) PING監視

1)「監視設定」をクリックします。PING監視設定画面が表示されます。

PING監視設定画面

監視設定

PING監視
メールサーバー監視
ハートビート

詳細設定
 ※ 入力項目は半角英数のみ有効

| 監視先 | DG                       | 送信 | 無答 |
|-----|--------------------------|----|----|
| 1   | <input type="checkbox"/> | 10 | 10 |

1

動作  
無動作 ▼

▲ アウトレット番号

| 監視先 | DG                       | 送信 | 無答 |
|-----|--------------------------|----|----|
| 1   | <input type="checkbox"/> | 10 | 10 |

2

動作  
無動作 ▼

▲ アウトレット番号

|                                     |    |
|-------------------------------------|----|
| PING 送信間隔 (分)                       | 1  |
| 死活監視レポートによる警告 (回)                   | 12 |
| ※PILOT LEDを赤点灯させる全アウトレットの死活監視レポート回数 |    |
| 回復不可時の1時間ごとの繰り返し回数制限 (回)            |    |
| 1                                   | 0  |
| 2                                   | 0  |
| ※0:無制限                              |    |

- ・(監視先)に対してICMPを(PING 送信間隔)分毎に1個送信します。
- ・(送信)回数内に(無答)回数回、応答が無いと異常と判断し(動作)を実行します。
- ・DGをチェックする事により、Default Gateway(ルータ等)を監視対象にします。
- ・アウトレット電源OFFの場合はPING監視は行いません。
- ・レポート復旧しない場合1時間毎に動作を繰り返します。

適用
リセット

「詳細設定」にチェックし、「適用」をクリックします。  
PING監視詳細設定画面が表示されます。

### PING監視詳細設定画面

監視設定

PING監視

メールサーバー監視

ハートビート

詳細設定 ※ 入力項目は半角英数のみ有効

| 監視先 | DG                       | 送信  | 無答 | 対象 |
|-----|--------------------------|-----|----|----|
| 1   | <input type="checkbox"/> | 10  | 10 | 1  |
| 2   | <input type="checkbox"/> |     |    |    |
| 3   | <input type="checkbox"/> | 動作  | 回数 | 間隔 |
| 4   | <input type="checkbox"/> | 無動作 | 1  | 1  |

▲ アウトレット番号

| 監視先 | DG                       | 送信  | 無答 | 対象 |
|-----|--------------------------|-----|----|----|
| 1   | <input type="checkbox"/> | 10  | 10 | 1  |
| 2   | <input type="checkbox"/> |     |    |    |
| 3   | <input type="checkbox"/> | 動作  | 回数 | 間隔 |
| 4   | <input type="checkbox"/> | 無動作 | 1  | 1  |

▲ アウトレット番号

PING 送信間隔 (分)

死活監視レポートによる警告 (回)

※PILOT LEDを赤点灯させる全アウトレットの死活監視レポート回数

回復不可時の1時間ごとの繰り返し回数制限 (回)

1  2

※0:無制限

- 監視先に対してICMPをPING 送信間隔分毎に1個送信します。
- 送信回数内に無答回数回、応答が無いと異常と判断します。
- 異常と判断した監視先が対象数に達すると異常と判定し動作を実行します。
- DGをチェックする事により、Default Gateway(ルータ等)を監視対象にします。
- アウトレット電源OFFの場合はPING監視は行いません。
- 動作後も応答がない場合は、動作を(間隔)分間隔で(回数)回行い、以降は1時間周期で動作を繰り返します。

- ① 監視先: 監視するIPアドレス又はドメイン名を設定します。  
各アウトレットに最大4ヶ所設定できます。(詳細設定のみ)  
例 IPアドレス : 192.168.0.1  
例 ドメイン名 : www.meikyo.co.jp
  - ② DG: チェックでデフォルトゲートウェイを監視先に指定します。
  - ③ 送信: 判断するための送信する回数を設定します。  
設定可能値 : 1~100 (回)
  - ④ 無答: 送信回数内で異常と判断する無応答回数を設定します。  
設定可能値 : 1~100 (回)
  - ⑤ 対象: 動作を実行させるための異常な監視先アドレスの数を設定します。  
1~4(詳細設定のみ)
  - ⑥ 動作: 動作を選択します。  
無動作 :PING監視を行いません。  
リポート :ログに記録し, 電源出力をOFF→ONします。  
ログのみ :ログに記録します。電源は制御しません。
  - ⑦ PING送信間隔(分):ICMPエコー要求パケットの送信間隔を設定します。  
設定可能値:1~60
  - ⑧ 死活監視リポートによる警告(回): デフォルト:12  
PILOT LEDを点滅させる全アウトレットの死活監視リポート回数
  - ⑨ 回復不可時の1時間ごとの繰り返し回数制限(回) :デフォルト:0(無制限)
- 2) 設定が終了しましたら「適用」をクリックします。

監視設定が有効なアウトレットはアウトレット番号の背景色が「青色」に変わります。  
また, PING監視が正常な場合は監視番号の背景色が「青色」に変わり, 異常が発生している場合は「赤色」, 回復中は「黄色」に変わります。

注意

指定したアウトレットが電源OFF状態の時はPING監視は行いません。(ICMPエコー要求パケットも送信しません)

応答のない状態が続いた場合は, 約1時間ごとに設定された動作を実行します。再度, 条件が成立しても動作は1時間に1度しか実行しません。

ハートビート監視が有効設定されたアウトレットでは, PING監視は実行されません。

### ■PING監視の仕組みと動作

監視先アドレスに対して[PING送信間隔(分)]で設定した間隔でICMPエコー要求パケットを1個送出し、応答を待ちます。

設定した[送信]回数内で設定した[無答]回数、無応答であるとその監視先を異常と判断します。

異常と判断された監視先が[対象]数に達すると、そのアウトレットを異常と判定し、設定した[動作]を実行します。

[動作]が[リポート]の場合、「再Reboot間隔(分)」ごとに「再Reboot回数」だけリポートを繰り返します。

(例)「PING送信間隔(分)」を「2(分)」,  
 「死活監視リポートによる警告(回)」  
 を「5(回)」,  
 「送信」を「5(回)」,  
 「無答」を「3(回)」,  
 「動作」を「リポート」,  
 「回数」を「3(回)」,  
 「間隔」を「6(分)」に設定した場合。

| 監視先             | DG                       | 送信 | 無答 | 対象 |
|-----------------|--------------------------|----|----|----|
| 1 192.168.1.xxx | <input type="checkbox"/> | 5  | 3  | 1  |
| 2               | <input type="checkbox"/> |    |    |    |
| 3               | <input type="checkbox"/> |    |    |    |
| 4               | <input type="checkbox"/> |    |    |    |

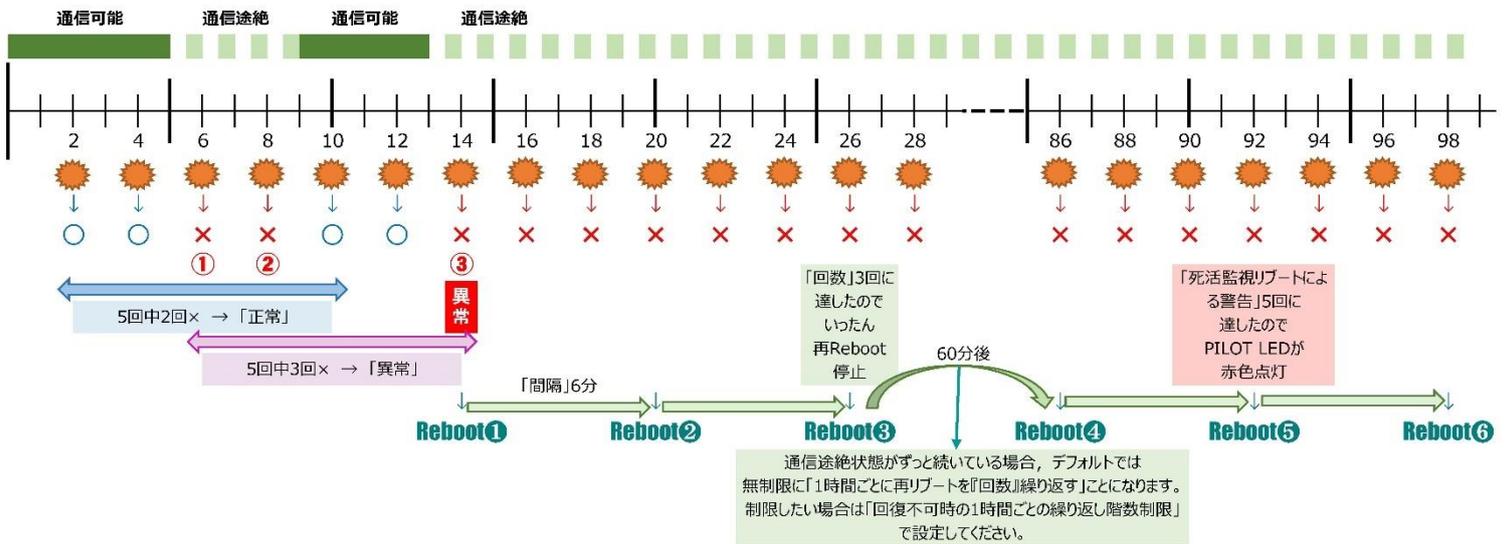
  

| 動作   | 回数 | 間隔 |
|------|----|----|
| リポート | 3  | 6  |

▲ アウトレット番号

|                   |   |
|-------------------|---|
| PING 送信間隔 (分)     | 2 |
| 死活監視リポートによる警告 (回) | 5 |

※PILOT LEDを赤点灯させる全アウトレットの死活監視リポート回数



## (2) メールサーバー監視

1)「メールサーバー監視」をクリックします,メールサーバー監視設定画面が表示されます。

メールサーバー監視設定画面

### ① メールサーバー監視

- 接続障害回数 : メールサーバーを異常と判断する回数を設定します。
- 動作 : [無動作]: 監視を行いません。  
 [リブート]: ログに記録し,電源出力をOFF→ONします。  
 [ログのみ]: ログに記録します。電源は制御しません。  
 動作はPING監視と共通の設定になります。

### ② 現在のメールサーバー設定

- メール受信サーバー接続障害回数 : メール受信サーバー接続障害回数を表示します。
- メールチェック間隔(分) : メールサーバーのチェック間隔  
 デフォルト 3分  
 (「通信設定-メール設定」の「メールチェック間隔(分)」の設定が反映されます)

2)設定が終了しましたら「適用」をクリックします。

注意 メールサーバー監視を行う場合は「メールサーバ設定」で**受信サーバーを正しく設定する**必要があります。また「メール制御設定」で**メール制御コマンドを有効**にしておく必要があります。（「通知先設定」のメールアドレスは空白でも構いません。）

メールサーバー監視とPING監視の両方を設定すると、いずれかが異常になった時点で動作を実行します。

ハートビート監視を有効にしたアウトレットでは、PING監視・メールサーバー監視は実行されません。

### (3) ハートビート

1)「ハートビート」をクリックします, ハートビート設定画面が表示されます。

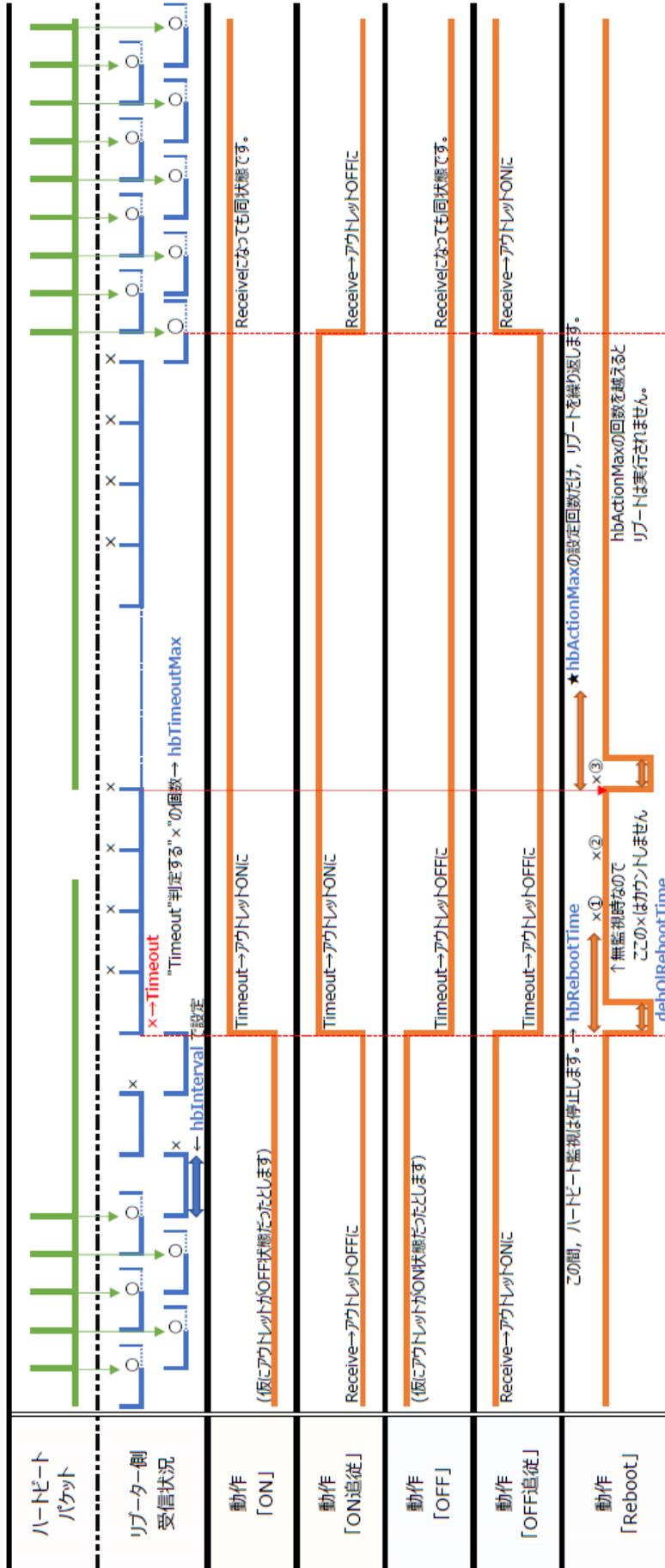
ハートビート設定画面

2)ハートビートを利用するには「ハートビートを利用する」にチェックし「適用」をクリックします。

アウトレット毎の動作を選択します。

|       | パケット受信時 | TimeOut発生 |
|-------|---------|-----------|
| 無効    | 無変化     | 無変化       |
| ON    | 無変化     | ONに変化     |
| ON追従  | ON→OFFへ | OFF→ONへ   |
| OFF   | 無変化     | OFFに変化    |
| OFF追従 | OFF→ONへ | ON→OFFへ   |
| リブート  | 無変化     | リブート      |

●次ページに, ハートビートパケット受信状況との連関図を載せます。



ハートビートを設定します。

- 待ち受けポート : リブーター側のパケット待ち受けポート  
デフォルト:9100  
(推奨値:9100~9199)
- 送信側IPアドレス指定 : ハートビートパケットを受け付ける送信側アドレス  
(空白は全て受信) (空白は全てパケットを受け付ける)
- 送信側ポート確認 : PC側(HB側)の送信ポート  
デフォルト:9100  
(推奨値:9100~9199)
- リブート後, 無監視時間 (秒)** : TimeOut判定によって「リブート」動作実行になった時点からハートビートパケットを待ち受ける間隔(秒)  
デフォルト:30  
設定可能値:1~999(秒)
- ハートビート監視間隔 (秒)** : ハートビートパケットを受ける間隔  
デフォルト:8 設定可能値1~99(秒)
- TimeOut判定数** : 「TimeOut」と判定する「未受信カウント(※)」数。  
デフォルト : 3 設定可能値1~99(回)  
**(※)未受信カウント:**「ハートビート監視間隔」で設定した秒数内にハートビートパケットが受信できなかった時, 「未受信カウント」が1つ上がります。ハートビートパケットを受信すると, 「未受信カウント」は「0」に戻ります。
- 動作最大回数 : 「動作」が「リブート」の場合の実行回数限度  
デフォルト : 3 設定可能値1~99(回)

パケット状態

パケット状態([待機中], [パケットを受信], [TimeOut発生中]), 送信元IP, 未受信カウントを表示します。

3)設定が終了しましたら「適用」をクリックします。

注意      ハートビート監視を実行しているアウトレットでは, PING監視・メールサーバー監視を実行することは出来ません。

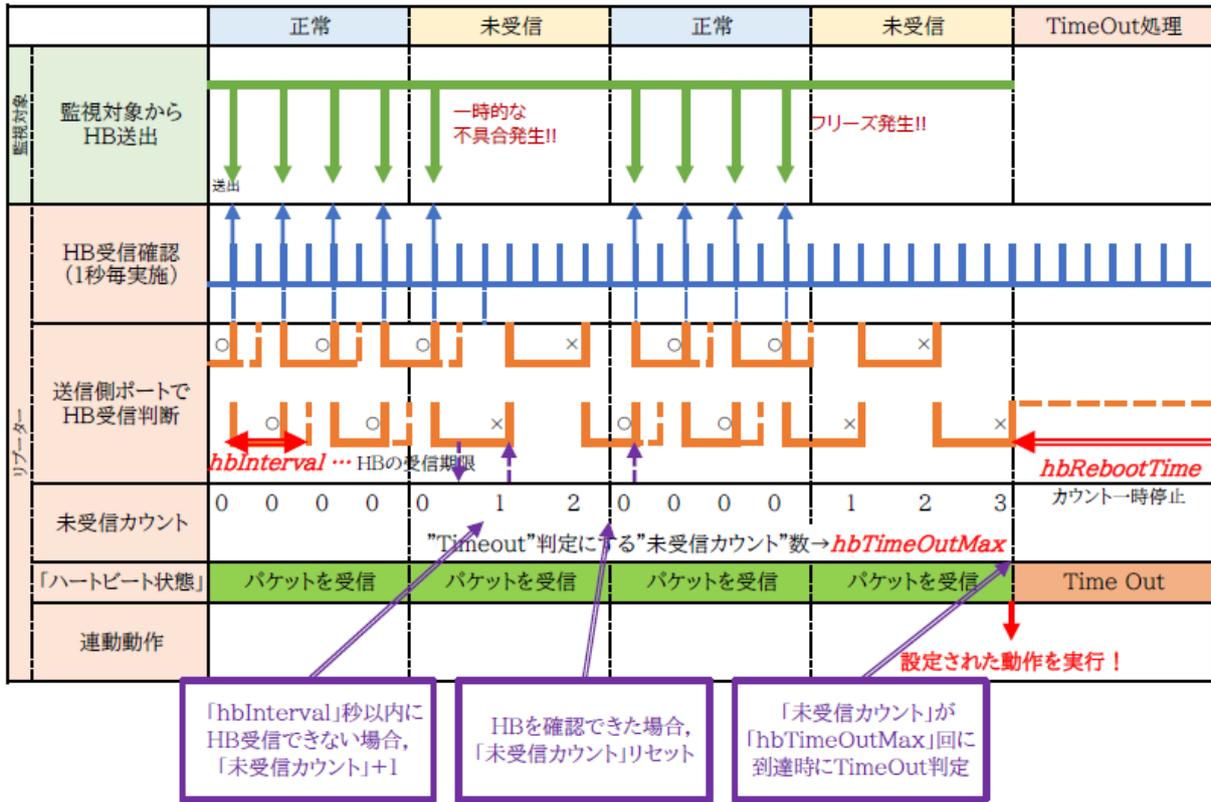
【ハートビートに必要なパケット形式】

UDPパケットのデータ“xxxxxxHB”+CRLFの9文字を受け, “xxxxxxACK”の8文字を返します。(xxxxxxは任意)

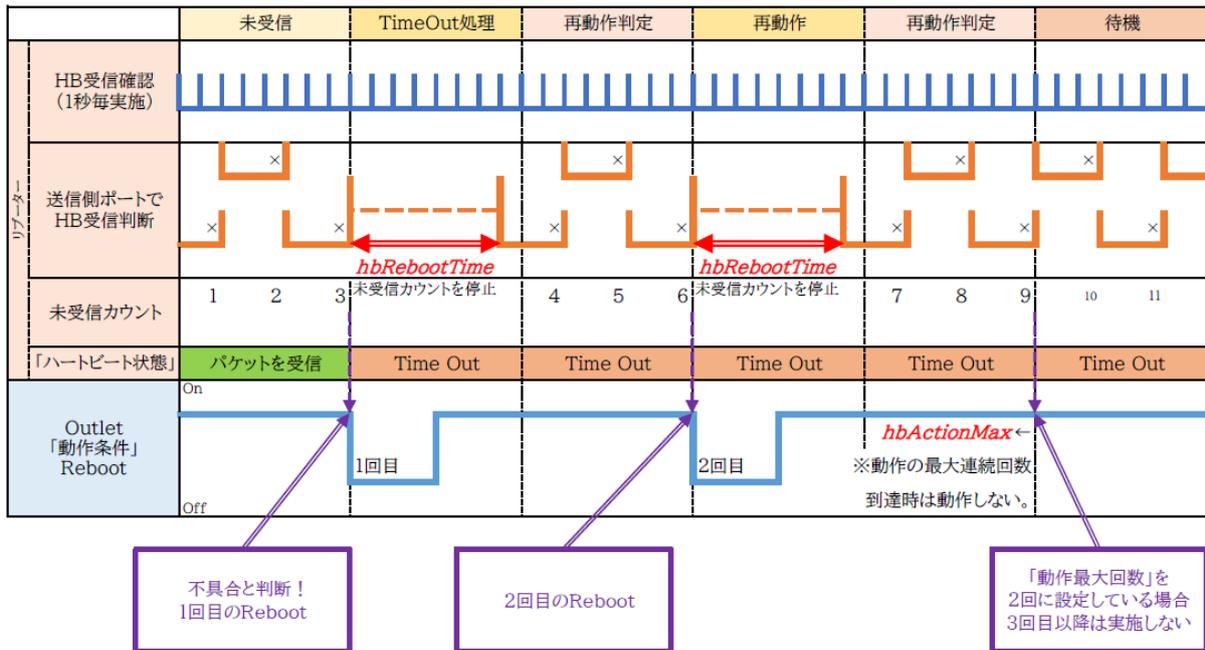
★「ハートビート監視間隔」「TimeOut判定数」「リポート判定後, 無監視時間」の設定がどのように関連しているかは下の図をご覧ください。

図中では変数名で表記されています。

- 変数 hbInterval → 「ハートビート監視間隔」
- hbRebootTime → 「リポート後, 無監視時間」
- hbTimeoutMax → 「TimeOut判定数」



●ハートビートパケットが受信できない状態が続くようになった時





⑤ 分 : 実行する分  
0 ~ 59

⑥ 動作 : 実行する動作  
[無動作] [リポート] [電源ON] [電源OFF] [定時メール]  
(仮想アウトレットではONのみ有効)

★「動作」にて[メール](定時メール)を設定した場合, [ネットワーク設定]-[メール設定]-[送信条件フラグ]にて, 送信したいメールアドレス番号の[F3 スケジュール]にチェックを入れてください。  
(チェックを入れ忘れると, [イベントログ]には「定時メール」とログが残るものの, 実際のメール送信がなされないことになります。)

2)設定が終了しましたら「適用」をクリックします。

注意 スケジュール設定を使う場合はNTPサーバーの設定が必要になります。  
基本設定で設定してください。

NTPサーバーの接続に失敗した場合は, エラーメッセージが表示されます。  
(失敗した時点でエラーログが1回残ります。その後, 接続に成功するまではNTPに関するエラーログは出ません。)

## [5] システム情報

本装置に設定された各項目の概要情報を一覧で確認できます。

1)「システム情報」をクリックします。

システム情報画面

The screenshot shows a web interface for system information. At the top, there is a green header bar with the text 'システム情報' (System Information) and a '更新' (Refresh) button. Below the header, there is a section titled 'システム基本' (System Basic) with two buttons: '設定詳細表示' (Show Detailed Settings) and 'ファームウェア更新' (Firmware Update). The main content area contains a table of system parameters.

|             |                            |
|-------------|----------------------------|
| 機器名称        | Nbname                     |
| バージョン       | 1.00E.220303/HTMLCS.220304 |
| モデル名        | RPC-M2CS                   |
| アウトレット数     | 2                          |
| アウトレット1名称   | Outlet1                    |
| アウトレット2名称   | Outlet2                    |
| 機器内部時間      |                            |
| 仮想アウトレット1名称 |                            |
| 仮想アウトレット2名称 |                            |
| 仮想アウトレット3名称 |                            |
| 仮想アウトレット4名称 |                            |
| 仮想アウトレット5名称 |                            |
| 仮想アウトレット6名称 |                            |
| 仮想アウトレット7名称 |                            |
| 仮想アウトレット8名称 |                            |
| MACアドレス     | 00:09:EE:00:12:34          |
| IPアドレス      | 192.168.10.1               |
| サブネットマスク    | 255.255.255.0              |
| デフォルトゲートウェイ |                            |
| NTPサーバーアドレス | (NG)                       |
| HTTP機能      | 有効                         |
| HTTPポート     | 80                         |
| TELNET機能    | 無効                         |
| TELNETポート   | 23                         |
| LAN接続速度     | 100.0Mbps                  |

## (1) 設定詳細表示

- 1)「設定詳細表示」をクリックします。
- 2)WEB画面に全変数が表示されます。

## (2) ファームウェア更新

ファームウェア更新は「オンライン(明京サーバー)自動アップデート」か「ローカルファイルの選択」からバージョンアップ方法の選択をし, 実行します。

- 1)「ファームウェア更新」をクリックします。
- 2)バージョンアップ方法の選択画面が表示されます。

バージョンアップ方法の選択画面

明京サーバーからダウンロード画面

バージョンアップ用ファイルの送信画面

画面の指示に従って実行してください。

実行後、バージョンアップ結果の画面が表示されます。

### バージョンアップ結果画面

ファームウェアバージョンアップ

バージョンアップ結果

Error = 3

※ファームは書き換えられていません。初期画面へ戻ることが出来ます。

初期画面へ

バージョンアップ時のエラーコード

| code  | 内容                     |
|-------|------------------------|
| 0     | 正常終了                   |
| 1     | 現在のバージョンが最新である         |
| 2     | 設定でバージョンアップが許可されていない   |
| 3     | DNSエラーを検出した            |
| 4     | 明京電機サーバーへのアクセスエラーが発生した |
| 5     | バージョンアップファイルが見つからなかった  |
| 11-15 | ヘッダ情報が不当である            |
| 21-30 | ファイル構成が不当である           |
| 31    | ORCが不当である              |
| 32-36 | ヘッダ情報と実際のファームが一致していない  |

**注意** バージョンアップ機能の制御については「第4章 Webブラウザでの設定, 制御」の「セキュリティ詳細設定」をご確認ください

- バージョンアップ実施中に通信途絶などで仮に失敗しても、通信回復時に「Firmware Recovery」画面 からvupファイルを再びアップロードすることで、バージョンアップを正常に完了させることができます。なお、正常に完了するまで、絶対に初期化なさらないでください。（初期化すると正常稼働しなくなります。）  
 (vupファイルは <https://www.meikyo.co.jp/archive/> の【アップデート(ファームウェア&ソフトウェア)】の各機種項目から入手可能です。)

### 【「Firmware Recovery」画面】

#### Firmware Recovery

参照... ファイルが選択されていません。 Update

★「Update」押下後、しばらくお待ちください。

1分以上しても表示が変わらなければ、本体 RESETボタンを押して再び実行してください。（初期化はしないでください）

完了すると「Firmware update has completed successfully.」が表示されます。

## [6] PING送信

本装置からのPING送信の確認できます。

- 1)「PING送信」をクリックします。

PING送信画面

- ① 「測定先アドレスを指定してください。」の欄に、測定先アドレスを入力し、「PING確認」をクリックして下さい。
- ② 測定中は「測定中」の表示がされます。
- ③ 測定結果が表示されます。
 

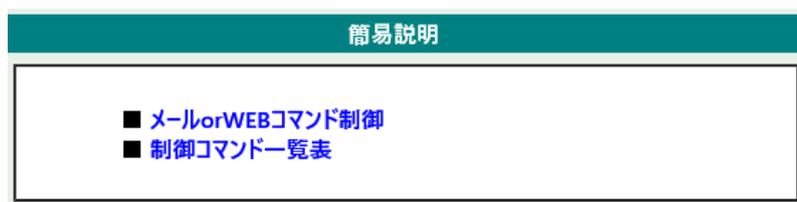
|    |  |
|----|--|
| 正常 | :Reply from xxx.xxx.xxx.xxx --- time=yyyms |
|    | xxx.xxx.xxx.xxx :測定先アドレス                   |
|    | yyy :応答時間(ミリ秒)                             |
|    |  |
| 異常 | :Request timed out.                        |
|    | 応答が異常時                                     |
|    |  |
| 異常 | :Domain name not found.                    |
|    | ドメイン名が存在しない                                |

## [7] 簡易説明

本装置の簡易説明が確認できます。

「簡易説明」をクリックします。

簡易説明画面



メールorWEBコマンド制御

メールからの制御

メールを利用して電源制御

WEBからダイレクトコマンド制御

WEBコマンドでの制御方法

利用可能コマンド

制御コマンド一覧表

## 3. 状態表示項目

### [1] 簡易情報表示

現在の本装置の電源情報を表示します。

- 1) 「簡易情報表示」をクリックします。

簡易情報表示画面

| アウトレット情報 |          |    |    |
|----------|----------|----|----|
| No.      | アウトレット名称 | 監視 | 電源 |
| 1        | Outlet1  |    | ON |
| 2        | Outlet2  |    | ON |

| 機器情報 |        |
|------|--------|
| 機器名称 | Noname |

注意 簡易情報表示は現在の本装置の状態を表示する画面で実際に制御することは出来ません。

## [2] 監視状態表示

現在の本装置の監視状態を表示します。

- 1)「監視状態表示」をクリックします。

### 監視状態表示画面

監視状態表示
更新

アウトレット監視状態／判定条件

| No. | 電源 | 死活判定 | 実行数 | 送信数 | 無応答 | 対象数 | 動作  |
|-----|----|------|-----|-----|-----|-----|-----|
| 1   | ON | 正常   | 0   | 10  | 10  | 1   | 無動作 |
| 2   | ON | 正常   | 0   | 10  | 10  | 1   | 無動作 |

▲ アウトレット番号

監視先状態

| No. | 監視先1 |      | 監視先2 |      | 監視先3 |      | 監視先4 |      |
|-----|------|------|------|------|------|------|------|------|
|     | 状態   | 無応答数 | 状態   | 無応答数 | 状態   | 無応答数 | 状態   | 無応答数 |
| 1   |      |      |      |      |      |      |      |      |
| 2   |      |      |      |      |      |      |      |      |

▲ アウトレット番号

PING応答時間

| No. | 監視先1 | 監視先2 | 監視先3 | 監視先4 |
|-----|------|------|------|------|
|     | 応答時間 | 応答時間 | 応答時間 | 応答時間 |
| 1   |      |      |      |      |
| 2   |      |      |      |      |

▲ アウトレット番号

ハートビート状態

| No. | 動作 | 実行数 | パケット状態   |
|-----|----|-----|----------|
| 1   | 無効 | 0   | ハートビート無効 |
| 2   | 無効 | 0   |          |

▲ アウトレット番号

**機器情報**

メール受信接続障害回数

① アウトレット監視状態/判定条件

- 電源 : 電源の状態を表示します。  
 死活判定 : 「PING監視」および「メールサーバー監視」の判定結果を表示します。

正常:異常な監視先が対象数未満,かつメールサーバー正常。  
 異常:異常な監視先が対象数以上,またはメールサーバー異常。  
 回復中:動作後,異常な監視先が対象数未満だが,異常な監視先が残っている。メールサーバー正常。

- 実行数 : 「PING監視」と「メールサーバー監視」の実行された動作の回数を表示します。  
 送信数 : 「PING監視」のPING送信回数の設定値を表示します。  
 無応答 : 「PING監視」の無応答回数の設定値を表示します。  
 対象数 : 「PING監視」の対象数の設定値を表示します。  
 動作 : 「PING監視」と「メールサーバー監視」の動作を表示します。

② 監視先状態

- 状態 : アウトレット毎に各監視先の応答状態を表示します。  
 無応答数 : ICMPエコー要求送信に対する無応答回数を表示します。

③ PING応答時間

- 応答時間 : 監視先の応答時間を表示します。

④ ハートビート状態

- 動作 : 動作状態を表示します。([待機中], [パケットを受信], [TimeOut発生])  
 実行数 : 実行数を表示します。  
 パケット状態 : パケット状態を表示します。

⑤ 機器情報

- メール受信接続障害回数 : メール受信サーバーへの接続障害回数を表示します。

### [3] イベントログ表示

現在までのイベントログを表示します。

- 1)「イベントログ表示」をクリックします。

イベントログ表示画面



- 2)「更新」を押すと最新状態に更新します。

|        |   |                     |
|--------|---|---------------------|
| 前ページ   | : | 前ページを表示します。         |
| 次ページ   | : | 次ページを表示します。         |
| 先頭ページ  | : | 先頭ページを表示します。        |
| 最終ページ  | : | 最終ページを表示します。        |
| 全ログクリア | : | ログを消去します。           |
| TEXT表示 | : | WEB画面にイベントログを表示します。 |

**注意** 1ページは100項目単位で表示します。  
最大10ページ, 1000項目のログを表示可能です。

**注意** 本製品の仕様で, 本体主電源投入時に「全仮想アウトレットON」のコマンドが発報されます。(「イベントログ」記録開始前に実行されるため, ログには記録されずに実行されます。)

## 4. 電源制御

本装置に接続されたデバイスの電源制御をします。

### [1] 電源制御

1)「電源制御」をクリックします。



#### ① 電源

現在の電源の状態を表します。

#### ② 個別アウトレット制御の動作

電源ON : 電源出力を開始します。  
 電源OFF : 電源出力を停止します。  
 リポート : 電源出力をOFF→ONします。

#### ③ 全アウトレット制御の動作

電源ON : 全アウトレットの電源出力を開始します。  
 電源OFF : 全アウトレットの電源出力を停止します。  
 リポート : 全アウトレットの電源出力をOFF→ONします。

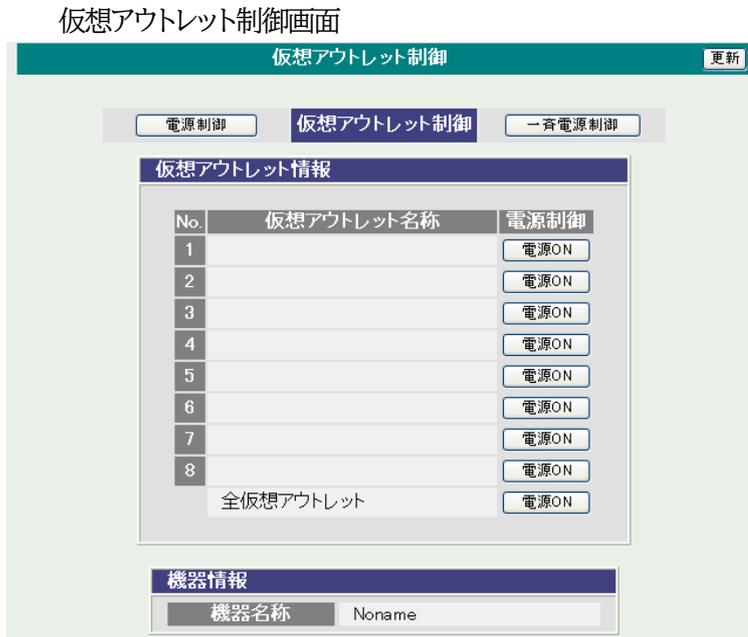
2)「更新」をクリックすると最新の電源状態を取得します。

**注意** 電源制御画面は「通信設定」の「WEB自動更新間隔」に基づき(「WEB自動更新機能」が「無効」であったとしても)常時自動で更新されます。

**注意** 「更新」をクリックしないと画面表示とアウトレットが違う場合がありますので電源状態は「更新」をクリックして最新の状態を確認してください。  
 全アウトレットONの時、個別アウトレットは1秒の遅延間隔でONします。(デフォルト時)

## [2] 仮想アウトレット制御

1)「仮想アウトレット制御」をクリックします。



### 仮想アウトレットについて

仮想アウトレットとは、実際には存在しないアウトレットであり、関連付けされたMACアドレスへマジックパケットを送出して、Wake on LAN機能を実現させるためのものです。

① 個別仮想アウトレット制御の動作

電源ON : マジックパケットを送出します。

② 全仮想アウトレット制御の動作

電源ON : 全仮想アウトレットへマジックパケットを送出します。

**注意** 本製品の仕様で、本体主電源投入時に「全仮想アウトレットON」のコマンドが発報されます。（「イベントログ」記録開始前に実行されるため、ログには記録されずに実行されます。）

### [3] 一斉電源制御

1)「一斉電源制御」をクリックします。



#### 一斉電源制御

一斉電源制御とは、複数の本装置を最大8グループに分けて、各グループ単位で一斉制御コマンドを送り、電源を制御することが出来ます。

|      |   |                                 |
|------|---|---------------------------------|
| 制御対象 | : | 制御するグループを選択します。                 |
| 動作   | : | 実行する動作<br>[電源ON] [電源OFF] [リポート] |
| 送信   | : | 一斉制御コマンドを送信します。                 |

★本装置を、**一斉電源制御を受け付ける状態**に設定したい場合はメンテナンスモード(DIPスイッチ3がON)にてグループ設定をする必要があります。(一斉電源制御を受け付ける状態になると、WEB画面での操作はできなくなります。TELNET通信においてSupervisor権限でのログインは可能です。)設定方法は本書の第3章3.をご覧ください。

注意 「更新」をクリックしないと画面表示とアウトレットが違う場合がありますので電源状態は「更新」をクリックして最新の状態を確認してください。

全アウトレットONの時、個別アウトレットは1秒の遅延間隔でONします。(デフォルト時)

リポートのOFF時間は10秒です。(デフォルト)

遅延時間, OFF時間及びOFF禁止などの設定は変数の変更により可能です。

## 5. CPUリセット

本装置の設定変更を有効にします。

- 1)「CPUリセット」をクリックします。

CPUリセット画面



- 2)CPUリセット画面の「CPUリセット」をクリックします。

注意

CPUリセットを必要とする内容の場合、「設定項目」の「CPUリセット」の背景色が黄色になります。  
「CPUリセット」をクリックすると設定した内容が有効になり、通信が切断されますが、アウトレットの状態は現状のまま保持されます。

## 第5章 その他の設定

## 1. TELNETによる設定

- 1)「スタート」から「ファイル名を指定して実行」を選択し、テキストボックスを開きます。「初期設定」で設定したIPアドレスを以下のように指定し、本装置にアクセスします。

192.168.10.1の場合  
IPアドレス : 192.168.10.1  
TELNETポート番号 : 23

「telnet\_192.168.10.1\_23」  
※\_はスペースを表します。

- 2)プログラムが起動し、下図のとおり表示されます。  
「Noname」は機器名称の設定が反映されます。

```
220 RPC-M2CS (Noname) server ready
```

- 3)任意のキーを入力します。IDとパスワードが要求されます。
- 4)ユーザーID(デフォルト:admin)とパスワード(デフォルト:magic)[TELNET接続でのAdmin権限]を入力し、<Enter>キーで実行します。「OK」の応答があります。

**注意** ブラウザ接続時のIDとパスワードはTELNET接続時のIDとパスワードとは別になります。  
デフォルトのままですとセキュリティホールになる危険があります。  
★コマンド(ID, PASS)により変更して利用することをおすすめします。

## [1] TELNETコマンドによる設定

- 1) 「スタート」から「ファイル名を指定して実行」を選択し、テキストボックスを開きます。「初期設定」で設定したIPアドレスを指定し、TELNETで本装置にログインします。
- 2) コマンドや変数などを入力し<Enter>キーで実行します。  
(IPアドレスなど一部の設定はCPUリセット後に反映されます。)

### ■ TELNET通信の設定関係コマンド

| コマンド       | 内 容                         |
|------------|-----------------------------|
| LIST       | 全ての変数の値を表示します。              |
| WRITE      | 変数の設定をFROMに書き込みます。          |
| &SAVE      | 設定された変数の待避・復元ができるデータを出力します。 |
| LOAD_BEGIN | 設定データの読み込みを始めます。            |
| LOAD_END   | 設定データの読み込みを終了します。           |
| ?変数名       | 変数の値を表示します。                 |
| .変数名=値     | 変数を設定し、設定された変数を表示します。       |
| CPURESET   | CPUをリセットします。(電源状態は変化しません。)  |

※変数については「**■変数一覧表**」参照

### ■ 「&SAVE」コマンドについて

環境(変数全体)を一括して待避・復元するためのコマンドです。

「&SAVE」を実行すると、最初に「LOAD\_BEGIN」、それに続いて一連の変数設定コマンド、最後に「LOAD\_END」をテキストデータとして出力します。このテキストデータを設定データとして保存し、のちに送信しますと、保存した設定になります。TELNET用のパスワードなど、いくつかの変数は保存されませんのでご注意ください。設定データをテキストエディタで変更して利用することもできます。なお、「&SAVE」には、エコーバックがありません。変数設定コマンドでは、エラーがあっても無くても表示しません。長いコマンドは分割されます。(最後にハイフンがあると、次に継続することを意味します。)ファイルからのコマンドを実行するときは、「promptMode」を0または1とします。

### ■ プロンプトやコマンドについて

TELNETからアクセスしたときは、コマンド入力のプロンプトが表示されます。プロンプト表示の有無または表示形式は、コマンドで指定します。制御ユーティリティでは、常に「>」のプロンプトが表示されます。また、「?」だけのコマンドにより、ヘルプとしてコマンドの一覧を表示します。どのコマンドでも最初に「&」をつけることによりエコーバックが無くなります。設定の取得、書き込みのときは、「promptMode」を0または1とします。

変数名           :   promptMode  
 値                :   0(プロンプト表示無し)  
                   :   1(「>」のプロンプト表示 )  
                   :   2(「 機器名 > 」のプロンプト表示 )

## 第6章

### その他の制御

## 1. TELNET接続による制御

本装置はTELNETサーバプログラムへ接続して、遠隔から電源制御および状態取得ができます。セキュリティ制御の設定がされている場合はその制限内での操作となります。

### [1] TELNET接続による制御

- 1)「スタート」から「ファイル名を指定して実行」を選択し、テキストボックスを開きます。「初期設定」で設定したIPアドレスを以下のように指定し、TELNETで本装置にログインします。

192.168.10.1の場合

IPアドレス : 192.168.10.1

TELNETポート番号 : 23

「telnet\_192.168.10.1\_23」

※\_はスペースを表します。

- 2)プログラムが起動し、下図のとおり表示されます。

「Noname」は機器名称の設定が反映されます。

```
220 RPC-M2CS (Noname) server ready
```

- 3)任意のキーを入力します。IDとパスワードが要求されます。
- 4)ユーザーID(デフォルト:admin)とパスワード(デフォルト:magic)[TELNET接続でのAdmin権限]を入力し、<Enter>キーで実行します。「OK」の応答があります。
- 5)制御コマンドを入力して、< Enter >キーで実行します。

**注意** 電源制御可能な他のユーザーが(WEBブラウザなどで)ログイン中の場合、当該方法にて新たにログインすることはできません。ただし、(TELNET接続での)supervisor権限ではログインすることが可能です。

ブラウザ接続時のIDとパスワードはTELNET接続時のIDとパスワードとは別になります。

デフォルトのままですとセキュリティホールになる危険があります。

★コマンド(ID, PASS)により変更して利用することをおすすめします。

■ 応答コマンド

- 正常受付 : Command OK
- 不正なコマンド : Unrecognized command
- 前コマンドの処理中のため  
コマンド実行せず : Last command is pending. Command failed.

## 2. メールからの制御

メールを利用して電源制御ができます。

メールからのコマンドを利用するには、通信設定ならびにメール設定を正しく行う必要があります。

- 注意
- 「通信設定-メール設定-通知先設定」の**「通知先アドレス」に設定したメールアドレスからのみメール制御**できます。
  - HTMLメールではメール制御できません。必ずテキスト形式メール**をご使用ください。

1. 本装置に、**テキスト形式**メールを送信します。

件名(タイトル)は特に必要ありません。

本文1行目に「メール制御ユーザー名」を入力します。

本文2行目に「メール制御パスワード」を入力します。

本文3行目以降にコマンドを入力します。

コマンドを入力し改行を入れます。

●コマンドの「LIST」と「&SAVE」は使えません。

(使えるコマンドは「第10章」■制御コマンド一覧表をご覧ください)

本文最終行に「QUIT」コマンドを入力します。

「Q」または「E」の1文字だけでもログアウトできます。

2. 数分後、本装置から結果を知らせるメールが届きます。

注意

メール制御ユーザー名とパスワードについては「第4章 Webブラウザでの設定, 制御」の「メール設定」をご確認ください。

電源制御可能な他のユーザーがWEBブラウザ, TELNET接続などで、ログイン中の場合、メール制御はできません。**WEBブラウザ, TELNET接続などから必ずログアウトしてから、メール制御を実行**してください。

## 3. WEBコマンドからの制御

WEBからダイレクトコマンドで電源制御ができます。

WEBコマンドでの制御方法

WEBコマンドは主に電源制御のためのコマンドであり、設定の変更は出来ません。

cmd.htm の後に下記のフォーマットで記入します。

- 「cmd.htm」の部分を「cmdres.htm」にすると、応答がテキスト形式のみになります。

### 【HTTP認証が「None」の場合】

?userid=[ユーザーID] &password=[パスワード] &command= [利用コマンド]

例:)ユーザーID:admin / パスワード:magic / コマンド:por2

http://192.168.10.1/cmd.htm?userid=admin&password=magic&command=por3

(変数名は省略可能です。「userid」→「i」, 「password」→「p」, 「command」→「c」)

→ http://192.168.10.1/cmd.htm?i=admin&p=magic&c=por2

- 1回実行することにより、HTTPのセッションが切れ、ログアウト状態に戻ります。

### 【HTTP認証が「Basic」「Digest」の場合】

?command= [利用コマンド]

例:)コマンド:por2

http://192.168.10.1/cmd.htm?command=por2

(変数名は省略可能です。「userid」→「i」, 「password」→「p」, 「command」→「c」)

→ http://192.168.10.1/cmd.htm?c=por2

- 実行時、ポップアップでID、PASSが求められます。実行後もHTTPのセッションを保持します。ログアウトする場合、http://[IPアドレス]/logout を実行してください。

### ■ダイレクトWEBコマンドでの利用可能コマンド

(第10章 ■制御コマンド一覧表 もご覧ください)

利用可能ユーザーLv[admin control ident supervisor]

VER POS XPOS OLS OLSn

利用可能ユーザーLv[admin control]

PONn POFn PORn MPON  
MPOF MPOR PSRn MPONV PONVn

注意 第4章 3. [3](1)<1>機器情報, [4](1)<3>ダイレクトWEBコマンドの各項目を設定してご利用ください。

## 第7章 ログイン機能

## 1. ログ機能の設定・表示

デバイスの監視やその他のイベントログを1000件記録します。1000件を超えた場合は古いログから消去し、新しいログを記録します。記録されたログは、コマンドで表示・確認できます。

### 1) TELNETによる設定と表示

記録モード・表示モードの設定及び記録されたログの表示は、それぞれのコマンドを入力し<Enter>キーで実行します。ログインして制御する方法で操作します。

#### ① 記録モードの変数名とコマンド

変数名 : logMode  
コマンド : .logMode

#### ② 表示モードの変数名とコマンド

変数名 : logDisp  
コマンド : .logDisp

#### ③ 接続中の表示のみを変更するコマンド

(通信が終了すると「logDisp」の値に戻ります。)

コマンド : LOGDISP

## [1] ログ制御変数のビット構成

値は最下位を0ビットとし、31ビットの構成になっています。

0:無, 1:有

| ビット              | ビット                   |
|------------------|-----------------------|
| 30 : 未使用         | 14 : 未使用              |
| 29 : 未使用         | 13 : TELNETログイン・ログアウト |
| 28 : 未使用         | 12 : TELNET接続・切断      |
| 27 : 未使用         | 11 : Webログイン・ログアウト    |
| 26 : 未使用         | 10 : Web接続            |
| 25 : 未使用         | 9 : メールログイン・ログアウト     |
| 24 : 未使用         | 8 : メール不正アクセス         |
| 23 : 未使用         | 7 : 未使用               |
| 22 : 未使用         | 6 : 未使用               |
| 21 : NTPアクセス     | 5 : 未使用               |
| 20 : 未使用         | 4 : 電源制御コマンド          |
| 19 : 未使用         | 3 : 未使用               |
| 18 : 未使用         | 2 : ping監視によるイベント     |
| 17 : 変数設定, write | 1 : ping無応答           |
| 16 : 未使用         | 0 : ping送信            |
| 15 : 未使用         |                       |





## [4] 記録ログ一覧表

|                                  |                               |
|----------------------------------|-------------------------------|
| 監視設定に基づくイベント(記録・表示のモード設定があります。)  |                               |
| Ping                             | ping送信                        |
| No Echo                          | ping無応答                       |
| 監視設定(Action)に基づくイベント             |                               |
| No Action                        | 処理なし                          |
| Outlet Reboot                    | 電源リブート                        |
| Outlet On                        | 電源ON                          |
| Outlet Off                       | 電源OFF                         |
| スケジュールの場合は、「by Schedule」と表示されます。 |                               |
| 電源制御によるイベント                      |                               |
| MPON                             | 全アウトレットの電源出力開始                |
| MPOF                             | 全アウトレットの電源出力停止                |
| MPOR                             | 全アウトレットの電源リブート                |
| PON                              | 指定されたアウトレットの電源出力開始            |
| POF                              | 指定されたアウトレットの電源出力停止            |
| POR                              | 指定されたアウトレットの電源リブート            |
| アクセスによるイベント(接続先IDが表示されます。)       |                               |
| --> Web                          | Web接続                         |
| ==> Web                          | Webログイン                       |
| <== Web                          | Webログアウト(切断)                  |
| <-- Web                          | ログインしないで切断                    |
| MAIL,TELNETの接続, ログインなどもこれに準じます   |                               |
| NTPServerAccessError             | NTPサーバー接続エラー<br>(3回続けて失敗した場合) |
| NTP --- hh:mm:ss                 | NTPサーバー接続                     |
| modeに関係のない表示                     |                               |
| Mail Error                       | メール送信エラー                      |

第8章  
SNMPについて

## 1. SNMPについて

本装置はSNMPエージェント機能を装備しています。SNMPマネージャーを利用して、ネットワークシステムの電源管理を行うことができます。

**SNMPでは電源制御は行えません。**

## 2. 機器設定

本装置をTELNET接続にて下記の項目を設定してください。  
詳細は「第6章 その他の制御」をご参照ください。

- ① SNMPのSET, GET有効化
 

|       |   |                   |
|-------|---|-------------------|
| 変数    | : | snmpGetSetEnabled |
| デフォルト | : | 0<br>(0:無効 1:有効)  |
  
- ② SNMP TRAPの有効化
 

|       |   |                  |
|-------|---|------------------|
| 変数    | : | snmpTrapEnabled  |
| デフォルト | : | 0<br>(0:無効 1:有効) |
  
- ③ SNMP不正アクセス時のTRAP通知
 

|       |   |                       |
|-------|---|-----------------------|
| 変数    | : | snmpAuthenTrapEnabled |
| デフォルト | : | 2<br>(1:有効 2:無効)      |
  
- ④ TRAP送信回数
 

|       |   |               |
|-------|---|---------------|
| 変数    | : | snmpTrapSendN |
| デフォルト | : | 1<br>(1~9)    |
  
- ⑤ TRAP送信間隔(秒)
 

|       |   |                      |
|-------|---|----------------------|
| 変数    | : | snmpTrapSendInterval |
| デフォルト | : | 1<br>(1~9)           |
  
- ⑥ TRAP送信先アドレス
 

|       |   |  |
|-------|---|--|
| 変数    | : | snmpTrapAddr   |
| デフォルト | : | 0.0.0.0,0.0.0.0,0.0.0.0,0.0.0.0,<br>0.0.0.0,0.0.0.0,0.0.0.0,0.0.0.0<br>(8箇所) |

- ⑦ SNMP用フィルターの有効化  
変数 : snmpFilterEnabled  
デフォルト : 0  
(0:無効 1:有効)
- ⑧ フィルター有効時許可するアドレス  
変数 : snmpFilterAddr  
デフォルト : 0.0.0.0,0.0.0.0,0.0.0.0,0.0.0.0,  
0.0.0.0,0.0.0.0,0.0.0.0,0.0.0.0,  
0.0.0.0,0.0.0.0  
(10箇所)
- ⑨ フィルター有効時のMask  
変数 : snmpFilterEnabled  
デフォルト : 255.255.255.255,255.255.255.255,  
255.255.255.255,255.255.255.255,  
255.255.255.255,255.255.255.255,  
255.255.255.255,255.255.255.255,  
255.255.255.255,255.255.255.255  
(10箇所)
- ⑩ SNMP GETコミュニティ名  
変数 : getCommunity  
デフォルト : Public
- ⑪ SNMP SETコミュニティ名  
変数 : setCommunity  
デフォルト : Public
- ⑫ SNMP TRAPコミュニティ名  
変数 : trapCommunity  
デフォルト : Public

## 3. MIBについて

本機を管理するためのプライベートMIBを準備しています。  
当社ホームページ(<https://www.meikyo.co.jp/download/>)よりMEIKYO.MIBをダウンロードし  
ご利用ください。

プライベートMIBファイルをNMSにロード・コンパイルすることにより、本機の管理をNMS上で  
行うことができます。

|    |   |
|----|---|
| 注意 | MIBのロード・コンパイル使用方法についての詳細は、ご利用される<br>NMSのマニュアルを参照してください。 |
|----|---|

第9章  
ネットワーク  
稼動監視

## 1. 機器設定

本装置からUDPのパケットを送出し、電源状態を通知することができます。  
「RPC EYE V4」(オプション 有償ソフトウェア)を利用すれば、各機器からの  
パケットを受信し一元管理することができます。

下記の変数を設定してください。(①～④)はWEB通信詳細画面により設定できます)

### ① 状態通知機能

|       |   |             |
|-------|---|-------------|
| 変数    | : | msrpEnabled |
| デフォルト | : | 0           |

(0:無効 1:有効)

RPC EYE V4を使用するパソコンのアドレスを設定します。

### ② 送信先アドレス

|       |   |                         |
|-------|---|-------------------------|
| 変数    | : | ipAdCenter              |
| デフォルト | : | 0.0.0.0,0.0.0.0,0.0.0.0 |

(3箇所)

RPC EYE V4を使用するパソコンのポート番号を設定します。

### ③ ポート番号

|       |   |            |
|-------|---|------------|
| 変数    | : | centerPort |
| デフォルト | : | 5000       |

情報を通知する間隔を設定します。

### ④ 定期通知の送信間隔(秒)

|       |   |                 |
|-------|---|-----------------|
| 変数    | : | centerSendTimer |
| デフォルト | : | 300             |

電源変化時は、定期通知間隔を待たず直ちに通知します。その時の通知回数を設定します。

### ⑤ 電源変化時の通知回数

|       |   |                       |
|-------|---|-----------------------|
| 変数    | : | centerChangeSendCount |
| デフォルト | : | 3                     |

電源変化時の通知の2回目以降の通知間隔を設定します。

### ⑥ 電源変化時の通知間隔(秒)

|       |   |                       |
|-------|---|-----------------------|
| 変数    | : | centerChangeSendTimer |
| デフォルト | : | 10                    |

## 2. RPC EYEの利用

RPC EYE V4はリブーターからの送信情報を利用して、各拠点のネットワークの稼働状態をリアルタイムで監視するネットワーク稼働監視ソフトです。

以下の特長があります。

- ・死活監視 電源状態の表示と監視
- ・アイコンによるビジュアルな状態表示
- ・リアルタイムに見られる詳細な情報ビューア
- ・温度状態のグラフによる表示
- ・受信情報のデータ保存(CSV形式)
- ・状態変化時にE-mailまたは音による通知機能
- ・個別の機器への接続機能(HTML or TELNET)
- ・1本のソフトでPC3台まで利用できます。
- ・(PRO版のみ)グループ単位での設定書込
- ・(PRO版のみ)グループ電源制御

詳細、購入方法等は下記のアドレスで確認ください。

<https://www.meikyo.co.jp/product/?ca=4>

### 設定前の確認

設定用PCと本装置をLANで確実に接続してください。

RPC EYE V4をPCにインストールしてください。

RPC EYE V4はWindows対応ソフトです。

RPC EYE V4の設定、利用方法は、RPC EYE V4説明書(PDFファイル)をご覧ください。

第10章  
仕様一覧

## ■変数一覧表

| 変数名                   | 初期値   | 内容                      | 備考                 |
|-----------------------|---|-------------------------|--------------------|
| ipAdEntAddr           | 192.168.10.1  | IPアドレス                  |                    |
| ifPhysAddress         | (機器毎)   | MACアドレス(ReadOnly)       |                    |
| serialNo              |   | [不使用]                   |                    |
| sysName               | Noname  | 機器名称                    | 全角9文字<br>半角19文字以内  |
| snmpGetSetEnabled     | 0   | SNMPのSET, GETの有効化       | 0:無効 1:有効          |
| snmpTrapEnabled       | 0   | SNMP TRAPの有効化           | 0:無効 1:有効          |
| snmpAuthenTrapEnabled | 2   | SNMP不正アクセス時のTRAP通知      | 1:有効 2:無効          |
| snmpTrapSendN         | 1   | TRAP送信回数                | 1~9                |
| snmpTrapSendInterval  | 1   | TRAP送信間隔(秒)             | 1~9                |
| snmpTrapAddr          |   | TRAP送信先アドレス             | "," 区切りで8箇所まで      |
| snmpFilterEnabled     | 0   | SNMP用フィルタの有効化           | 0:無効 1:有効          |
| snmpFilterAddr        |   | フィルタ有効時許可するアドレス         | "," 区切りで10箇所まで     |
| snmpFilterMask        | 255.255.255.255,<br>255.255.255.255,<br>255.255.255.255,<br>255.255.255.255,<br>255.255.255.255,<br>255.255.255.255,<br>255.255.255.255,<br>255.255.255.255,<br>255.255.255.255,<br>255.255.255.255 | フィルタ有効時のMask            | 10箇所               |
| getCommunity          | public  | SNMP GETコミュニティ名         | 半角20文字以内           |
| setCommunity          | public  | SNMP SETコミュニティ名         | 半角20文字以内           |
| trapCommunity         | public  | SNMP TRAPコミュニティ名        | 半角20文字以内           |
| sysDescr              | *1文字列   | (ReadOnly)              |                    |
| sysContact            | form@meikyo.co.jp   | 連絡先                     |                    |
| sysLocation           | Nowhere   | 設置場所                    | 全角31文字<br>半角63文字以内 |
| ifDescr               | *2文字列   | (ReadOnly)              |                    |
| ipAdEntNetMask        | 255.255.255.0   | ネットマスク                  |                    |
| ipRouteDest           |   | デフォルトゲートウェイ             |                    |
| netBootpRetry         | 0   | BOOTPリトライ回数             |                    |
| netRarpRetry          | 0   | RARPリトライ回数              |                    |
| telnetEnabled         | 0   | TELNETの有効化              | 0:無効 1:有効          |
| telnetPort            | 23  | TELNETのポート番号            |                    |
| rshdEnabled           | 0   | リモートシェル(rsh)設定          | 0:無効 1:有効          |
| rshdPort              | 514   | リモートシェル(rsh)に使用する着信ポート  |                    |
| rshErrPort            | 1000  | リモートシェル(rsh)に使用するエラーポート |                    |
| utilityPort           | 9000  | UTYのポート番号               |                    |
| fileLoadPort          | 9200  | HTMLファイルをロードするポート       |                    |
| httpEnabled           | 1   | HTTPの有効化                | 0:無効 1:有効          |
| httpPort              | 80  | HTTPのポート番号              |                    |
| httpRefreshInterval   | 30  | HTTP自動更新間隔(秒)           |                    |
| httpRefreshEnabled    | 0   | HTTP自動更新の有効化            | 0:無効 1:有効          |
| httpCommandEnabled    | 0   | HTTPコマンドの有効化            | 0:無効 1:有効          |

|                     |   |                                 |  |
|---------------------|---|---------------------------------|--|
| dhcpEnabled         | 0   | DHCPの有効化                        | 0:無効 1:有効  |
| ipFilterEnabled     | 0   | IPフィルタの有効化                      | 0:無効 1:有効  |
| ipFilterAddr        | 192.168.10.0  | IPフィルタアドレス                      | ”,” 区切りで10箇所まで                                     |
| ipFilterMask        | 255.255.255.0,<br>255.255.255.255,<br>255.255.255.255,<br>255.255.255.255,<br>255.255.255.255,<br>255.255.255.255,<br>255.255.255.255,<br>255.255.255.255,<br>255.255.255.255,<br>255.255.255.255 | IPフィルタマスク                       | 10箇所   |
| model               | RPC-M2CS  | モデル名(ReadOnly)                  |  |
| version             |   | バージョン表示(ReadOnly)               |  |
| debTcpInactiveTimer | 10  | TELNET通信時の無通信タイム(分)             |  |
| autoLogoutEnabled   | 1   | 自動ログアウト監視の有効化                   | 0:無効 1:有効  |
| userLoginTimeout    | 600   | HTTP自動ログアウト時間                   | 30~30000   |
| debMasterRebootTime | 10  | 全アウトレットリポート時のOFF時間(秒)           | 8~3600   |
| debOIMaster         | 1,2   | 各アウトレットの運転設定                    | 左→右 1→2アウトレット<br>デフォルト時, 運転無し                      |
| debOIPowerOnTime    | 1,2   | 各アウトレットのON時間                    | 左→右 1→2アウトレット<br>-1~3600                           |
| debOIPowerOnSTime   | 1,2   | 本体起動時に適用する電源出力ON<br>遅延時間(単位:秒)  | 左→右 1→2アウトレット<br>-1~3600                           |
| debOIPowerOnTTime   | 0,0   | スケジュールに適用する電源出力ON<br>遅延時間(単位:秒) | 左→右 1→2アウトレット<br>0~3600                            |
| debOIShutdownTime   | 0,0   | 各アウトレットのOFF時間                   | 左→右 1→2アウトレット<br>-1~3600                           |
| debOIRebootTime     | 10,10   | 各アウトレットのREBOOT時間                | 左→右 1→2アウトレット<br>8~3600                            |
| debOIWdogAddr       |   | 監視先IPアドレス                       | 左→右 1→2アウトレット<br>”,” 区切りで2箇所まで                     |
| debOIWdogSendMax    | 10,10   | PING監視 送信回数                     | 左→右 1→2アウトレット<br>1~100                             |
| debOIWdogNoResMax   | 10,10   | PING監視 無応答回数                    | 左→右 1→2アウトレット<br>1~100                             |
| debOIWdogActCond    | 1,1   | PING監視 監視対象数                    | 左→右 1→2アウトレット<br>1~4                               |
| debOIWdogAction     | 0,0   | PING監視 Action                   | 左→右 1→2アウトレット<br>0:無動作 1:ログのみ<br>2:リポート 3:ON 4:OFF |
| debOIWdogActCount   | 0,0   | PING監視 Action回数<br>(ReadOnly)   | 左→右 1→2アウトレット                                      |
| debOIWdogStatus     | 0,0   | PING監視判断(ReadOnly)              | 左→右 1→2アウトレット<br>0:未設定 1:正常<br>2:異常 3:回復中          |
| debOIRebootCount    | 1,1   | PING監視 再Reboot回数                | 左→右 1→2アウトレット<br>1~100                             |
| debOIRebootInterval | 1,1   | PING監視 再Reboot間隔(分)             | 左→右 1→2アウトレット<br>1~60                              |
| debOIActionLimit    | 0,0   | PING監視 異常時の1時間ごとに<br>繰り返すリポート回数 | 左→右 1→2アウトレット<br>0:無制限                             |
| debOIRecvErrorMax   | 0,0   | メールサーバー監視 接続障害回<br>数            | 左→右 1→2アウトレット<br>0:機能無効                            |



|                        |   |  |   |
|------------------------|---|--|---|
| mailInfoFlag           | 1,1,1,1,1,1,1,1,<br>1,1,1,1,1,1,1,1,<br>1,1,1,1,1,1,1,1,<br>0,0,0,0,0,0,0,0,<br>0,0,0,0,0,0,0,0,<br>0,0,0,0,0,0,0,0,<br>0,0,0,0,0,0,0,0,<br>0,0,0,0,0,0,0,0,<br>0,0,0,0,0,0,0,0,<br>0,0,0,0,0,0,0,0,<br>0,0,0,0,0,0,0,0,<br>0,0,0,0,0,0,0,0,<br>0,0,0,0,0,0,0,0,<br>0,0,0,0,0,0,0,0 | PING監視 メール送信有効化<br>コンマ区切りで表示<br>イベント テスト<br>宛先タイプ TO 8アドレス分<br>イベント テスト<br>宛先タイプ CC 8アドレス分<br>イベント テスト<br>宛先タイプ BCC 8アドレス分<br>イベント PING<br>宛先タイプ TO 8アドレス分<br>イベント PING<br>宛先タイプ CC 8アドレス分<br>イベント PING<br>宛先タイプ BCC 8アドレス分<br>イベント 定時メール<br>宛先タイプ TO 8アドレス分<br>イベント 定時メール<br>宛先タイプ CC 8アドレス分<br>イベント 定時メール<br>宛先タイプ BCC 8アドレス分<br>イベント ハートビート<br>宛先タイプ TO 8アドレス分<br>イベント ハートビート<br>宛先タイプ CC 8アドレス分<br>イベント ハートビート<br>宛先タイプ BCC 8アドレス分 | 0:無効 1:有効                                       |
| mailCommandEnabled     | 0   | メールコマンドの有効化  | 0:無効 1:有効                                       |
| mailCommandAddrEnabled | 1   | 【不使用】  | 【不使用】   |
| mailRecvProtocol       | 1   | メール受信プロトコル   | 1:POP3 2:IMAP                                   |
| mailLogoutTime         | 10  | 【不使用】  |   |
| mailCheckInterval      | 3   | メールチェック間隔(分)   | 1~60  |
| mailApopEnabled        | 0   | APOPの有効化   | 0:無効 1:有効                                       |
| mailSmtplibAuthEnabled | 0   | SMTPAUTHの有効化   | 0:無効 1:有効                                       |
| mailSmtplibAuthMask    | 7   | SMTPAUTHのMask  |   |
| mailImapAuthMask       | 6   | IMAP AUTHのMask   |   |
| mailRetryCount         | 3   | メールリトライ回数  | 1~99  |
| mailRetryInterval      | 10  | メールリトライ間隔(秒)   | 1~999   |
| mailRecvPort           | 110   | メール受信ポート   | 0~65535   |
| mailSendPort           | 25  | メール送信ポート   | 0~65535   |
| mailExtraMsg           | ¥r¥n  | 通知メール ユーザー定義文字列  | 最大3パターンまで<br>全角21文字 半角40文字以内<br>(¥r¥nは改行コードの意味) |
| promptMode             | 2   | TELNETプロンプトモード   | 0:無し 1:「>」の表示<br>2:「機器名>」の表示                    |
| logMode                | 0111 1111<br>1111 1111 1111<br>1111 1111 0100   | ログ記録モード(31ビット)   | 0:無効 1:有効                                       |
| logDisp                | 0111 1111<br>1111 1111 1111<br>1111 1111 1111   | ログ表示モード(31ビット)   | 0:無効 1:有効                                       |
| mailLogCount           | 0   | メールで送信する更新されたログの数  | 0:無効 1~20:閾値                                    |
| mailLogDisp            | 0111 1111<br>1111 1111 1111<br>1111 1111 1111   | メールログ表示モード(31ビット)  | 0:無効 1:有効                                       |
| ipAdNtpServer          |   | NTPサーバーのIPアドレス   |   |

|                       |                |   |  |
|-----------------------|----------------|---|--|
| ntpInterval           | 6              | NTPサーバーへのアクセス間隔<br>(×10分)               |  |
| msrpEnabled           | 0              | 状態通知の有効化                                | 0:無効 1:有効                                |
| ipAdCenter            |                | MSRP送信先IPアドレス                           | 8箇所まで                                    |
| centerPort            | 5000,5000,5000 | MSRP送信先ポート番号                            |  |
| terminalId            | 0              | 監視情報ID番号                                | 0~9999                                   |
| centerSendTimer       | 300            | 監視情報送信間隔(秒)                             |  |
| centerChangeSendTimer | 10             | 状態変化時の送信間隔(×100ミリ<br>秒)                 |  |
| centerChangeSendCount | 3              | 状態変化時の送信回数                              |  |
| ipAdTelnetT           |                | TELNETからのTELNET中継先<br>アドレス              |  |
| remoteTelnetPortT     | 23             | TELNETからのTELNET中継先<br>ポート               |  |
| remoteTelnetMyPort    | 5000           | TELNET中継時の発信ポートベ<br>ース番号                |  |
| discChar              |                | 中継中の通信切断キャラクタ                           |  |
| debWakeupPhysAddr     | ,              | WOL MACアドレス                             | "," 区切りで2箇所まで                            |
| debWakeupMaxCount     | 2              | マジックパケット送信回数                            |  |
| debWakeupInterval     | 15             | マジックパケット送信間隔(秒)                         |  |
| debWakeupPhysAddrV    | ,,,,,,         | 仮想アウトレットWOL MACアド<br>レス                 | "," 区切りで8箇所まで                            |
| ipAdMailRecvServer    |                | メール受信サーバーアドレス                           |  |
| ipAdMailSendServer    |                | メール送信サーバーアドレス                           |  |
| etherSpeed            | 2              | 接続速度                                    | 0:接続していない<br>1:10.0Mbps 2:100.0Mbps      |
| pingPktSize           | 16             | PINGパケットのデータ長                           | 16~1472                                  |
| resetCause            |                | リセット原因表示                                |  |
| recvErrorCount        | 0              | PING監視、メールサーバーへの<br>アクセスエラー回数【ReadOnly】 |  |
| ledBlinkEnabled       | 1              | PILOT LED, OUTLET LEDの<br>点滅の有効化        | 0:無効 1:有効                                |
| broadGroup            | 0              | 一斉電源制御の有効化                              | 0:無効 1~8:グループ                            |
| broadPhysAddr         |                | 一斉電源制御側MACアドレス                          |  |
| hbEnabled             | 0              | ハートビートの有効化                              | 0:無効 1:有効                                |
| hbIpAddr              |                | ハートビートの対象IPアドレス                         | 0は無視                                     |
| hbPort                | 9100           | ハートビートの待ち受けポート                          |  |
| hbPcPort              | 9100           | ハートビートの送信側ポート確認                         |  |
| hbInterval            | 8              | ハートビートのパケットを受け<br>る間隔(秒)                | 1~99                                     |
| hbRebootTime          | 30             | ハートビートのリポート時間(秒)                        | 1~99                                     |
| hbTimeoutMax          | 3              | ハートビートの動作を行うカウント                        | 1~99                                     |
| hbActionMax           | 3              | ハートビートのリポート実行限度回<br>数                   | 1~99                                     |
| hbAction              | 0,0,0,0        | ハートビートのアウトレット毎の動<br>作                   | 0:無効 1:ON 2:ON追従<br>3:OFF 4:OFF追従 5:リポート |
| hbTimeoutCount        | 0              | タイムアウトの累積回数<br>(ReadOnly)               |  |
| hbActionCount         | 0,0,0,0        | アウトレット毎の動作を実行した回<br>数(ReadOnly)         |  |
| hbStat                | 0              | ハートビート状態(ReadOnly)                      | 0:待機中, 1:パケットを受信                         |
| hbCallingIpAddr       |                | 最後にパケットを受信したIPアド<br>レス(ReadOnly)        |  |

|                   |   |  |   |
|-------------------|---|--|---|
| httpCommandReturn |   | ダイレクトWEBコマンド実行後の<br>戻り用URL ("http://"を省いて<br>記述) |   |
| httpCommandNo     | 0   | ダイレクトWEB実行後に表示され<br>るページの設定                      | 0:コマンド実行結果を表示<br>1:元の画面に戻る<br>2:httpCommandReturnで指定した<br>アドレスにジャンプ |
| httpCommandSet    | 1,1,1,1,1,1,1,1,<br>1,1,1,1,1,1,1,1   | ダイレクトWEB実行後に表示され<br>るページの表示制限設定                  | 0:非表示 1:表示  |
| httpScreen        | 1,1,1,1,1,1,1,1,<br>1,1,1,1,1,1,1,1,<br>1,1,1,1,1,1,1,1,<br>1,1,1,1,1,1,1,1 | ブラウザに表示される画面/項目<br>の表示設定                         | 0:非表示 1:表示  |
| httpPageType      | 0   | PC, スマートフォン等端末の種類<br>にあわせて画面を切り替えるため<br>の設定      |   |
| httpPageStart     | 0   | ログイン後に最初に表示されるペ<br>ージ                            | 0:簡易情報表示<br>1:監視状態表示<br>2:イベントログ表示 3:電源制御                           |
| httpAuthMode      | 2   | HTTP認証モード  | 0:None 1:Basic認証<br>2:Digest認証                                      |
| realmName         | RPC-M2CS  | 認証領域 (realm) 名                                   | 半角英数字20文字以内   |
| nonceTime         | 180   | nonceの有効時間 (秒)                                   | 30~30000  |
| searchEnabled     | 1   | RPCサーチソフトからの受信設定                                 | 0:無効 1:有効   |
| versionupEnabled  | 3   | バージョンアップの有効化                                     | 0:無効 1:ローカル更新のみ<br>2:オンライン更新のみ 3:有効                                 |
| revision          | 01  | ファームウェアバージョンアップ機<br>能コード                         |   |

\*1文字列 Meikyo Remote Power Controller, RPC-M2CS Ver. 1.00D

\*2文字列 Meikyo 100BASE-TX Driver

## ■ロガー一覧表

| 内 容  | 情 報                   | TELNETなどのLOG              |
|--|-----------------------|---------------------------|
| ログ開始   |                       | Log Start                 |
| PING送信   | outlet no. Ipaddr no. | ping                      |
| PING無応答  | outlet no. Ipaddr no. | No Echo                   |
| 死活判定(NoAction)   | アウトレットno.             | No Action                 |
| 死活判定(REBOOT)   | アウトレットno.             | Outlet Reboot             |
| 死活判定(アウトレットON)   | アウトレットno.             | Outlet On                 |
| 死活判定(アウトレットOFF)  | アウトレットno.             | Outlet Off                |
| 正常/回復中   | アウトレットno.             | Outlet Recovered          |
| スケジュール(REBOOT)   | アウトレットno.             | Outlet Reboot by Schedule |
| スケジュール(アウトレットON)   | アウトレットno.             | Outlet On by Schedule     |
| スケジュール(アウトレットOFF)  | アウトレットno.             | Outlet Off by Schedule    |
| 全アウトレットON  | アウトレットALL ID (IDは接続者) | MPON                      |
| 全アウトレットOFF   | アウトレットALL ID (IDは接続者) | MPOF                      |
| 全アウトレットREBOOT  | アウトレットALL ID (IDは接続者) | MPOR                      |
| アウトレットON   | アウトレットno.ID (IDは接続者)  | PON                       |
| アウトレットOFF  | アウトレットno.ID (IDは接続者)  | POF                       |
| アウトレットREBOOT   | アウトレットno.ID (IDは接続者)  | POR                       |
| メールログイン要求  | no.(no.は[通知先アドレス]番号)  | -->Mail                   |
| ●「メールログイン要求 0」と表示されている場合、[通知先アドレス]に登録されていないメールアドレスから送信があったことを意味します。(「メールログイン要求」の場合、メール制御コマンドは実行されなかったことになります。) |                       |                           |
| メールログイン  | no.(no.は[通知先アドレス]番号)  | ==>Mail                   |
| メールログアウト   | no.(no.は[通知先アドレス]番号)  | <==Mail                   |
| TELNET接続   | IPAddr                | -->Telnet                 |
| TELNET切断   | IPAddr                | <--Telnet                 |
| TELNETログイン   | IPAddr                | ==>Telnet                 |
| TELNETログアウト  | IPAddr                | <==Telnet                 |
| Web接続  |                       | -->Web                    |
| Webログイン  |                       | ==>Web                    |
| Webログアウト   |                       | <==Web                    |
| 設定変更   | [変数名] ID (IDは接続者)     | variable set (xxxxxx)     |
| 設定書込(WRITE)  | ID (IDは接続者)           | write to FROM             |
| NTPサーバー接続  | hour minute second    | NTP --- hh:mm:ss          |
| NTPサーバー接続エラー   |                       | NTP Server Access Error   |
| メールエラー   |                       | Mail Error                |

■制御コマンド一覧表

「TELNET」欄の「A」:Admin権限 「S」:Supervisor権限

「メール」:メール制御

「ダイレクト」:ダイレクトWEBコマンド A:Admin S:Supervisor C:Control I:Ident

| 制御コマンド      | 内容  | TELNET | メール | ダイレクト |
|-------------|---|--------|-----|-------|
| MPON        | 全アウトレットの電源出力開始  | A      | ○   | AC    |
| MPOF        | 全アウトレットの電源出力停止  | A      | ○   | AC    |
| MPOR        | 全アウトレットの電源リポート  | A      | ○   | AC    |
| PONn        | 指定されたアウトレットの電源出力開始 n=1~2  | A      | ○   | AC    |
| POFn        | 指定されたアウトレットの電源出力停止 n=1~2  | A      | ○   | AC    |
| PORn        | 指定されたアウトレットの電源リポート n=1~2  | A      | ○   | AC    |
| PSRn        | 指定されたアウトレットの電源状態反転 n=1~2  | A      | ○   | AC    |
| MPONV       | 全仮想アウトレットにマジックパケットを送信する。  | AS     | ○   | AC    |
| PONVn       | (nは1~8) debWakeupInterval後にマジックパケットを送信する。   | AS     | ○   | AC    |
| OLSn<br>OLS | 死活監視状態の表示 n=1~2<br>nを省略すると全てのアウトレットを表示します。<br>コンマ区切りで表示。<br>Outlet No.            アウトレット番号[1~2]<br>Power                    電源状態[0:Off 1: On]<br>Judge                    判定[1:正常 2:異常 3:回復中]<br>Action Count            Action実行回数<br>Last Ping1                アドレス1の最後の応答[1:正常 2:異常]<br>NoEchoCount1            アドレス1の未応答回数<br>NoEchoTime1             アドレス1の応答時間(ms)<br>[0:未設定 1:応答時間 9999:未応答]<br>Last Ping2                アドレス2の最後の応答[1:正常 2:異常]<br>NoEchoCount2            アドレス2の未応答回数<br>NoEchoTime2             アドレス2の応答時間(ms)<br>[0:未設定 1:応答時間 9999:未応答]<br>Last Ping3                アドレス3の最後の応答[1:正常 2:異常]<br>NoEchoCount3            アドレス3の未応答回数<br>NoEchoTime3             アドレス3の応答時間(ms)<br>[0:未設定 1:応答時間 9999:未応答]<br>Last Ping4                アドレス4の最後の応答[1:正常 2:異常]<br>NoEchoCount4            アドレス4の未応答回数<br>NoEchoTime4             アドレス4の応答時間(ms)<br>[0:未設定 1:応答時間 9999:未応答] | AS     | ○   | ASCII |

|          |  |    |   |       |
|----------|--|----|---|-------|
| VER      | バージョンの表示   | AS | ○ | ASCII |
| POS      | 全アウトレットの電源状態取得<br>応答:mmmm<br>左側からアウトレット1~2<br>m=0:OFF 1:ON   | AS | ○ | ASCII |
| XPOS     | 全アウトレットの電源状態詳細の取得<br>応答:ABXXXX, ABXXXX, ABXXXX, ABXXXX<br>左側からアウトレット1~2<br>A=0:OFF 1:ON<br>B=0:OFF遅延中 1:ON遅延中<br>XXXX=Bのタイマ残り時間              | AS | ○ | ASCII |
| ID       | (TELNET接続での)ユーザーIDの変更<br>※入力を失敗すると変更されません。<br>1: Normal (Admin権限でのID名を変更します)<br>2: Supervisor(Supervisor権限でのID名を変更します)                       | AS | × | ×     |
| PASS     | (TELNET接続での)パスワードの変更<br>新しいパスワードを2回入力します。※入力を失敗すると変更されません。<br>1: Normal (Admin権限でのID名を変更します)<br>2: Supervisor(Supervisor権限でのID名を変更します)       | AS | × | ×     |
| TELNET   | 変数「ipAdTelnetT」のアドレス, 変数「remoteTelnetPortT」のポートにTELNETクライアントとして接続します。【中継を停止するには、通常と同じくexitやqで切断できます。】一度に受信するデータは、概ね40Kバイト以下でご利用ください。         | AS | × | ×     |
| DATE     | 年月日設定<br>例)DATE yy/mm/dd<br>yy:年 mm:月 dd:日   | AS | ○ | ×     |
| TIME     | 現在時刻設定(秒は省略可)<br>例)TIME hh:mm:ss<br>hh:時 mm:分 ss:秒   | AS | ○ | ×     |
| PING     | ICMPを4回送信します。<br>例)PING [IPアドレス]   | AS | × | ×     |
| IPCONFIG | LANの通信設定を表示します。<br>(例)<br>Ip Address 192.168.10.1<br>Subnet Mask 255.255.255.0<br>Default Gateway 192.168.10.254<br>Ethernet Speed 100.0Mbps | AS | ○ | ×     |
| CPURESET | CPUをリセットします。<br>コマンドを実行しても電源状態は変化しません。   | AS | × | ×     |
| PROMPT=n | 0:(プロンプト表示無し)<br>1:(「 > 」のプロンプト表示 )<br>2:(「 機器名 > 」のプロンプト表示 )<br>*変数「promptMode」により接続直後のモードが決まります。   | AS | × | ×     |
| EXIT     | 回線切断 最初の文字がE, e, Q, qの場合はEXITと認識します。   | AS | ○ | ×     |

## ■仕様一覧表

|         |                               |   |                       |
|---------|-------------------------------|---|-----------------------|
| 通信仕様    | LAN通信仕様                       | ARP, TCP/IP, UDP/IP, ICMP, POP3, IMAP, BOOTP, DHCP, TELNET, SMTP, APOP, NTP, HTTP, SNMP |                       |
|         | LAN制御方法                       | SNMPマネージャー, TELNET  |                       |
|         |                               | WEB<br>E-mail   |                       |
| 機能      | 電源制御/管理                       | 電源ON  |                       |
|         |                               | 電源OFF   |                       |
|         |                               | 電源リブート  |                       |
|         |                               | 電源状態取得  |                       |
|         |                               | グループ制御  |                       |
|         | スケジュール機能                      | 週間スケジュール機能(20個)   |                       |
|         |                               | NTPによる時刻同期機能  |                       |
|         |                               | スケジュールON/OFF機能  |                       |
| 状態監視    | ICMP送信                        |   |                       |
|         | 通報機能:SNMPトラップ, UDPパケット        |   |                       |
|         | Mai通知                         |   |                       |
|         | ハートビート                        |   |                       |
| WOL対応機能 | あり:マジックパケット送信                 |   |                       |
| ハード仕様   | インターフェース                      | 10Base-T/100Base-TX 1 (RJ45)<br>(IEEE802.3に準拠)  |                       |
|         | 定格                            | 最大制御出力  | AC100V 10A (1000W)    |
|         |                               | 最大消費電力  | 4.0 W                 |
|         |                               | 入力電源電圧  | AC100V ±10% (50/60Hz) |
|         | 使用環境                          | 温度  | 0~40℃                 |
|         |                               | 湿度  | 20~85%(ただし結露なきこと)     |
|         | 外形寸法<br>(脚ゴム除く)               | 160(W) x40(H) x160(D) mm  |                       |
| 重量      | 約1.2kg                        |   |                       |
| 規格      | 特定電気用品認証品(電気用品安全法), RoHS2指令準拠 |   |                       |

## 問い合わせ先

### 明京電機株式会社

〒114-0012 東京都北区田端新町1-1-14

東京フェライトビル4F

TEL 03-3810-5580 FAX 03-3810-5546

ホームページアドレス

<https://www.meikyo.co.jp/>

## ご注意

- (1)本書および製品の内容の一部または全部を無断で複写複製することは禁じます。
- (2)本書および製品の内容については、将来予告なしに変更することがあります。
- (3)本書および製品の内容については、万全を期して作成いたしました。が、万一ご不審な点や誤り、記載漏れなどお気づきの点がありましたら、ご連絡ください。
- (4)本製品を運用した結果の影響については、(3)項にかかわらず責任を負いかねますのでご了承ください。
- (5)本製品がお客様により不当に使用されたり、本書の内容に従わずに取り扱われたり、または弊社および弊社指定のもの以外の第三者により修理・変更されたこと等に起因して生じた障害などにつきましては、責任を負いかねますのでご了承ください。
- (6)弊社指定以外のオプションを装着してトラブルが発生した場合には、責任を負いかねますのでご了承ください。

WATCH BOOT nino RPC-M2CS

取扱説明書 2022年 4月 第1.0g版

著作権所有 明京電機株式会社

※「WATCH BOOT」は明京電機株式の商標です。登録番号 5000750号（平成18年11月2日登録）